

会長のページ 今年の夏に想う	河野 雅行	3
COVID-19報告 新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き(8月4日現在)	吉田 建世	4
日州医談 新型コロナウイルス感染症の蔓延化に備えて	濱田 政雄	8
医師国保からみた新型コロナウイルスの影響	佐々木 究	12
はまゆう随筆(その3)		14
獅子目 輯, 蜂須賀裕志, 室井 栄治, 市原 美宏, 春山 幸洋, 南嶋 洋一, 河野 清秀, 後藤 崇, 岩見 晶臣, 細川 和義, 本田 正之		
エコー・リレー(541)	安部なつみ, 上別府豊治	25
メディアの目 「コロナ後」, 発信すべき宮崎の魅力	舟木 靖	26
国公立病院だより(宮崎大学医学部附属病院)	鮫島 浩	34
宮崎大学医学部だより(感染症学講座 微生物学分野)	新 竜一郎	36
専門分科医会だより(整形外科医会)	松本 宏一	37
診療メモ ふるえの診療	望月 仁志	80
宮大医学部学生のページ 部活動紹介 ~軟式テニス部~	有村 祐斗	82

あなたできますか?(令和元年度医師国家試験問題より)	24
表彰・祝賀	27
宮崎県感染症発生動向	28
各郡市医師会だより(延岡市医師会, 日向市東臼杵郡医師会)	30
第120回九州医師会医学会実行委員会	38
九州医師会連合会第385回常任委員会	40
ベストセラー	41
九州医連連絡会第30回常任執行委員会	42
日医インターネットニュースから	44
医師協同組合だより	46
医師国保組合だより	48
理事会日誌	54
県医の動き	59
会員の異動・変更報告	60
ドクターバンク情報	63
行事予定	69
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	73
あとがき	88

お知らせ 日州医事投稿についてのお知らせ	23
クールビズの実施について	39
令和2年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	42
医師資格証を持ちましょう	43
医療勤務環境改善支援センター	53
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	62
日州医事へのご意見・ご感想	67
第4回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	71
郡市医師会への送付文書	84

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

風にのせて

モデルさんには描きやすい人とそうではない人がいます。今どきの手足が長くひょろりとした体型の人は、私には描きにくいタイプです。できれば中肉中背で少しふっくらした人がいいのです。この絵のモデルさんは普通でボーイッシュな方でしたので、割と早く描けました。ただなぜかでき上がってみると八等身か九等身になっているのです。

西都市 あん どう のぶ
藤 安 藤 宣

会長のページ

今年の夏に想う

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

少年時代、夏休みは年間を通じて最大の楽しみでした。宿題は意図的に忘れて毎日暑い中を早朝から夕方まで川遊びなどで戸外を走り廻っていました。何しろ当時は屋内に冷房装置もなく、扇風機ですら貴重品だったので、木陰であればむしろ戸外の方が凌ぎやすい状態でした。それでも記憶の中では最近の夏ほどには暑くなかったような気がします。

今年の夏は新型コロナウイルス感染症騒動で異常事態です。教育現場では春に休校が続いたために夏休みが短縮され子どもたちが可哀そうです。学業の遅れや生活環境リズムの乱れも問題視されています。社会も

例年であれば、運動や仕事による熱中症発生や、各地の最高気温などが最大ニュースになる時期ですが、加えて本年はコロナ関連ニュースや未曾有の雨量による各地の水害のニュースに溢れています。ニュースの内容が変化するのも時代の流れでしょうか。年初から全世界を席巻しているコロナ騒動では、8月11日現在で全世界の感染者が2,000万人、死亡者が70万人を超えており、世界中のさまざまな分野の指導者までもが感染しました。そんな中で、しばらく無縁のように思えていました宮崎県でも7月になりクラスターが数か所で発生しており、短期間のうちに感染者が数倍に増え、社会にも地域医療にも深刻な影響を与えています。医療関係者も感染しました。関連して各種の医師会行事や学会なども軒並み中止や延期を余儀なくされ困惑しています。人類の歴史はまさに疾病、特に感染症との戦いです。今回のコロナ感染症も過去のスペイン風邪の例にみられるように、終息するまでには何回かの増幅した波があるものと思われます。現在は感染対策に忙殺されていますが、終息後が公私ともに大変です。社会の変革のみならず生活の変容もあり得ますし、運動不足による個人体力も低下しています。最も懸念しますのは我が国の医療提供体制に変化が起ることです。コロナ対策緊急措置のうち、ある部分だけがそのまま残ってしまう恐れもあります。感染病床を確保するために止むを得ず一般病床の制限がなされました。感染を恐れて受診抑制が続いています。地域医療はそれで廻せるのではないかと都合良く解釈されては困ります。あくまでも一時的な緊急避難措置なのです。一貫しておきたいのは国民皆保険と地域医療体制の堅持です。

既述したように夏といえば解放感に溢れた楽しい季節のはずですが、今年は抑制～抑制で縛られた夏でした。夏祭り、花火大会、甲子園野球などなど、当然のように行われていた行事が軒並み中止や縮小開催となり、集会や移動の制限が叫ばれました。来年はコロナを気にすることなく、例年通りにさまざまな夏の行事やオリンピックを楽しみたいものです。 (令和2年8月17日)

COVID-19報告

新型コロナウイルス感染症に係る
県医師会の動き（8月4日現在）宮崎県医師会 常任理事 よし だ けん せい
吉 田 建 世

7月22日以降、高鍋町のスナックでのクラスター発生から始まる感染拡大で、宮崎市をはじめ県内のほとんどの地区で感染が確認され、宮崎市の公共施設や延岡市のバーでも集団感染が発生している。8月4日現在で、宮崎県内で207名の感染者数を数え、西都市・児湯郡圏域と延岡市・西臼杵郡圏域が感染状況区分の『(赤) 感染状況が厳しい区域』となっている。(P10 図3-2 参照)

これは、7月10日の宮崎県新型コロナウイルス感染症対策協議会で示された、宮崎県の『新型コロナウイルス感染症に関する第2次基本対処方針』に基づくもので、その基準を参考に今後「宮崎県独自の緊急事態宣言」を出すこととなっている。

この内容を説明すると、まず県内を7つの二次医療圏単位に分け、新規感染者などを目安に、各圏域の感染状況を①(緑) 感染未確認圏域、②(黄) 新規感染者が限定的な圏域、③(赤) 感染状況が厳しい圏域に設定する。その状況により外出やイベントの自粛や公共施設の閉館などを指示する。(P10 図3-1 参照) 警報レベルは、レベル1(警報)、レベル2(特別警報)、レベル3(感染拡大緊急警報)、レベル4(緊急事態宣言)と分けられ、「緊急事態宣言」は、県全域において、①新規感染者または感染経路不明例の急増(直近1週間)、②クラスターの続発、③入院病床稼働率の逼迫、を目安に宣言することになっている。

今後これ以上に感染を拡大させないためには、早めの感染経路の把握と情報供給が必要で

あり、県当局の頑張りに医師会としても協力していきたい。

8月5日現在の県医師会のCOVID-19関連の主な活動を報告します。

【主な活動】

1 会議等

- 7月10日 県新型コロナウイルス感染症対策協議会(濱田副会長、吉田常任理事、峰松理事)
 - 7月15日 妊婦に係る新型コロナウイルス検査体制整備についての協議(濱田副会長、嶋本理事)
 - 7月26日 県新型コロナウイルス感染症対策協議会(濱田副会長、吉田常任理事、峰松理事)
 - 7月26日 県新型コロナウイルス感染症対策調整本部会議(濱田副会長、吉田常任理事)
 - 8月2日 新型コロナウイルス感染症患者宿泊療養所視察(濱田副会長)
- そのほか、常任理事協議会、全理事協議会、六役会などにおいて協議を重ねている。

2 日本医師会からの情報収集

- 7月21日 日医新型コロナウイルス感染症対策本部会議【日医TV会議】(会長)
- 7月31日 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会【日医TV会議】

3 会員への情報発信等

① FAXニュースの発信

7月13日	FAXニュースNo.453 新型コロナウイルス感染症への対応について (24) ・患者発生について (19, 20例目)
7月22日	FAXニュースNo.454 新型コロナウイルス感染症への対応について (25) ・医療機関を対象とした慰労金・支援金事業について
7月23日	FAXニュースNo.455 新型コロナウイルス感染症への対応について (26) ・患者発生について (21～23例目)
7月24日	FAXニュースNo.456 新型コロナウイルス感染症への対応について (27) ・患者発生について (24～27例目)
7月25日	FAXニュースNo.457 新型コロナウイルス感染症への対応について (28) ・患者発生について (28～36例目)
7月26日	FAXニュースNo.458 新型コロナウイルス感染症への対応について (29) ・患者発生について (37～55例目) ・県内初のクラスター発生
7月27日	FAXニュースNo.459 新型コロナウイルス感染症への対応について (30) ・慰労金・支援金の申請受付開始について
7月30日	FAXニュースNo.460 新型コロナウイルス感染症への対応について (31) ・医療崩壊を防ぐために!! 各医療機関における新型コロナウイルス検査実施のお願い
7月31日	FAXニュースNo.461 新型コロナウイルス感染症への対応について (32) ・PCR検査を受託可能な民間検査機関の追加について

② その他

7月13日	新型コロナウイルス感染症のPCR検査について郡市医師会へアンケート調査
-------	-------------------------------------

4 マスク、手指消毒用エタノールなどの確保と配布

主に各郡市医師会を通じて新型コロナウイルス感染症対策に必要な医療機関に配布を行っている。今後も優先配布の要望を行う。

7月13日	アイソレーションガウン (20,800枚) 【国支給】	7月27日	手指消毒用エタノール液 (1,296本×500ml) 【資生堂】
7月27日	フェイスシールド (11,000枚) アイソレーションガウン (15,000枚) 【国支給】		

※その他クラスターが発生した地域に対して、優先的に国支給のサージカルマスク、ガウン、非滅菌手袋の配布を行っている。

5 患者発生状況

1) 感染者数（7月22日以降）

(人)

7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28
3	4	9	26	5	18	19
7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	
17	20	16	19	19	12	

※令和2年8月4日 13時現在

2) コロナ感染者の分布（既退院者などを除く）

(人)

圏 域	市 町 村	8/4の感染者数
西都市・児湯郡	西 都 市	6
	高 鍋 町	31
	新 富 町	4
	木 城 町	3
	川 南 町	13
	都 農 町	1
宮崎市・東諸県郡	宮 崎 市	51
	国 富 町	2
延岡市・西臼杵郡	延 岡 市	37
日向市・東臼杵郡	日 向 市	5
	門 川 町	1
都城市・北諸県郡	都 城 市	5
県外	熊 本 市	1
合 計		160

※令和2年8月4日 13時現在

宮崎大宮高校から「医療従事者への感謝のメッセージ」

8月4日(火)、宮崎大宮高校国際ボランティア部の皆さん(坂本知優さん・2年、新竹珠美さん・1年、是澤希理子さん・1年、森田浩平先生・顧問)が来館され、河野会長へ医療従事者への感謝のメッセージを贈呈いただきました。

このメッセージは、国際ボランティア部の生徒の発案で全校生徒に呼びかけ、新型コロナウイルス感染症へ対応する県内すべての医療従事者へ向けた感謝の言葉を集めたものとのことです。しばらくの間、本会2階研修室前に掲示しておりますので、ご来館の際にはぜひご覧ください。



——— 高校生からのメッセージの一部をご紹介します。 ———

きびしい状況下の中、私たち市民のために働いてくださりありがとうございます。本当に感謝しています／医療従事者の負担が少しでも減るように私たちも予防をがんばります。私たちの言葉で皆さんが幸せになってくれると嬉しいです／個人の時間もとれずつらいと思いますが頑張ってください／今回のコロナで今まで何も考えなかった私が医療従事者にすごく感謝するようになりました／自身の健康に気を付けて頑張ってください！／大変ななか最前線で働いてくださってありがとうございます！対策に努めます／現場は想像を絶する大変さだと思います。そのような所で頑張ってくださいっている皆さんのおかげで私たちの生活が成り立っていると思います／皆様のおかげで安心した生活ができています。最近第二波の前兆が見られていますが、大変な思いをされると思います。全員で協力して平和に戻ればいいです／私は親戚が医療従事者ということもないので、今病院がどれだけ大変なのか状況は把握できていませんが、ニュース等でたびたび目にし、ひたむきに励んでいる様子にいつも尊敬の念を抱きます。最近、再び感染者が増加していますが、お体に

気を付けて頑張ってください／自分がいつ感染するか分からない中で戦う皆さまはとてもすばらしいヒーローです！応援しています。私たちも頑張ります／私は看護師を目指しています。医療従事者の方々のように活躍できるよう頑張ります／多大なリスクがある中、休みもなく働いてくださって、どう感謝の意を表せば良いかわかりません。休みが出来たら、ゆっくり体を休ませてください。本当にお疲れ様です／将来お手伝いしますので、頑張ってください！／他の職業の人が外出や勤務を自粛している中、踏ん張って闘っていただきありがとうございます！／2021には東京五輪を開催できるように1人1人で予防を徹底していきたいと思います。一緒に日本を元気にしましょう！／今日の日本がこのコロナ禍の中で混乱せず比較的平和な状態にあるのは日本を支える皆さんのおかげです／私の母も医療関係者の仕事を行っているので、よく話を聞きますが、休む時間もあまり取れず、新たに患者が増え、非常に忙しいと言っていました。私たちもコロナ消滅のために頑張ろうと思います／前の生活に戻る希望が見えるのは皆さんのおかげです／

日州医談



新型コロナウイルス感染症の蔓延化に備えて

副会長 はま濱 だ田 まさ政 お雄

昨年末の中国武漢市を発生源とする新型コロナウイルス感染症は世界中に流行拡大し、3月11日にWHOよりパンデミック宣言がなされた。最近になりようやく病態が見え始め無症状者・軽症者が多く感染が広がりやすいが、重症化や後遺症の酷さをみるとインフルエンザとは大きく病態が異なり、また年齢・リスク因子による重症化率の違いも見えてきた。本邦では、1月28日に指定感染症第2類に位置づけられ、2月1日に帰国者接触者相談センターが設置され感染対策が始動し、2月25日政府の新型コロナウイルス感染症対策本部が「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を決定された。また、感染拡大防止策としては新型コロナウイルス感染症の増加時に全件検査を実施すると重症患者対応に支障が出る恐れが考えられるため、入院を要する肺炎患者などでのPCR検査などを優先すると通達された。この通達はPCR検査体制が充分でなかったこの時点では有効であり感染拡大の予防に一定の効果を認め、実際に当初の宮崎県の処理能力1日24件が、現在は約300件の処理が可能となっている。また、2月27日には医師が必要と認めた場合にはPCR検査を実施できると事務連絡されたが保健所までの周知徹底が遅れたため、有症状者を診る医療現場では必要と思われるPCR検査もできないという混乱が生じた。本県では、3月4日第1例目の新型コロナウイルス感染症発生があり、4月6日に入院体制の整備について審議する新型コロナウイ

ルス感染症対策協議会（以下協議会）が発足し、感染フェーズごとの医療体制や対策について協議する会議と位置づけされた。また入院調整や資機材調達を実施するための実働組織として調整本部が設けられた。この協議会で、感染症指定7医療機関と別に中等症・軽症者の入院医療施設としての協力医療機関や軽症者・無症状者を対象の宿泊施設などの設置が検討された。調整本部は行政とともに地域差を考慮して医療圏を広域化で想定し入院調整するとしたが、ある程度までは各医療圏で対応できるように地域協力医療機関についてまで言及した。高度な治療を要するものは中央（宮崎大学・県立宮崎病院）で対応することとし、この体制を持続可能とするために後方支援的医療機関体制（感染症指定医療機関・協力医療機関）の充実が必要とされた。4月24日の協議会では、具体的な入院病床数の確保と軽症者・無症状者に対応する宿泊施設確保について検討し（図1）、PCR検査陽性者は原則として医療機関で入院管理した後に、状態をみて宿泊施設収容することとした。感染者増加によっては直接宿泊施設への入所も認めるが、医師の診察を必須として以後は看護師の管理に任せるとした。7月10日厚労省からの「今後を見据えた新たな患者推計を踏まえた医療提供体制の再構築」の発出にともなって協議会を開催し、新規感染者数でフェーズを3区分にわけ各フェーズでの入院病床数と宿泊療養室数を規定した（図2）。

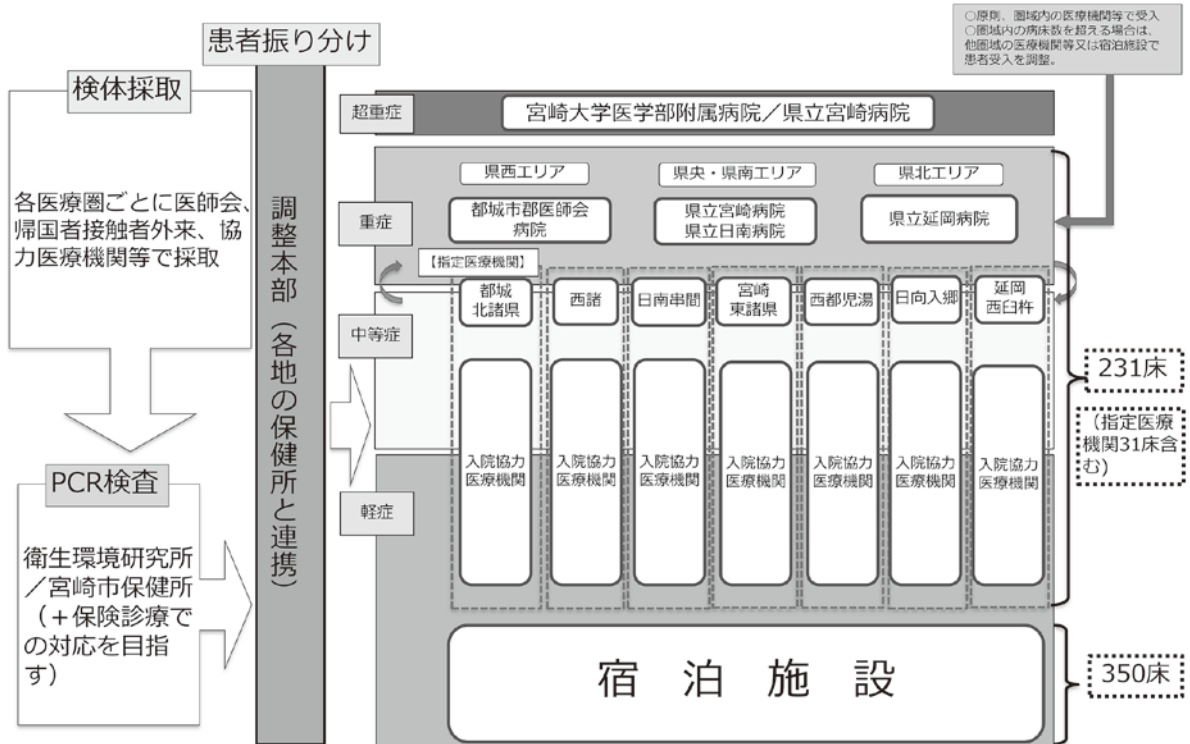


図1 新型コロナウイルス感染症にかかる医療提供体制（第1次案）

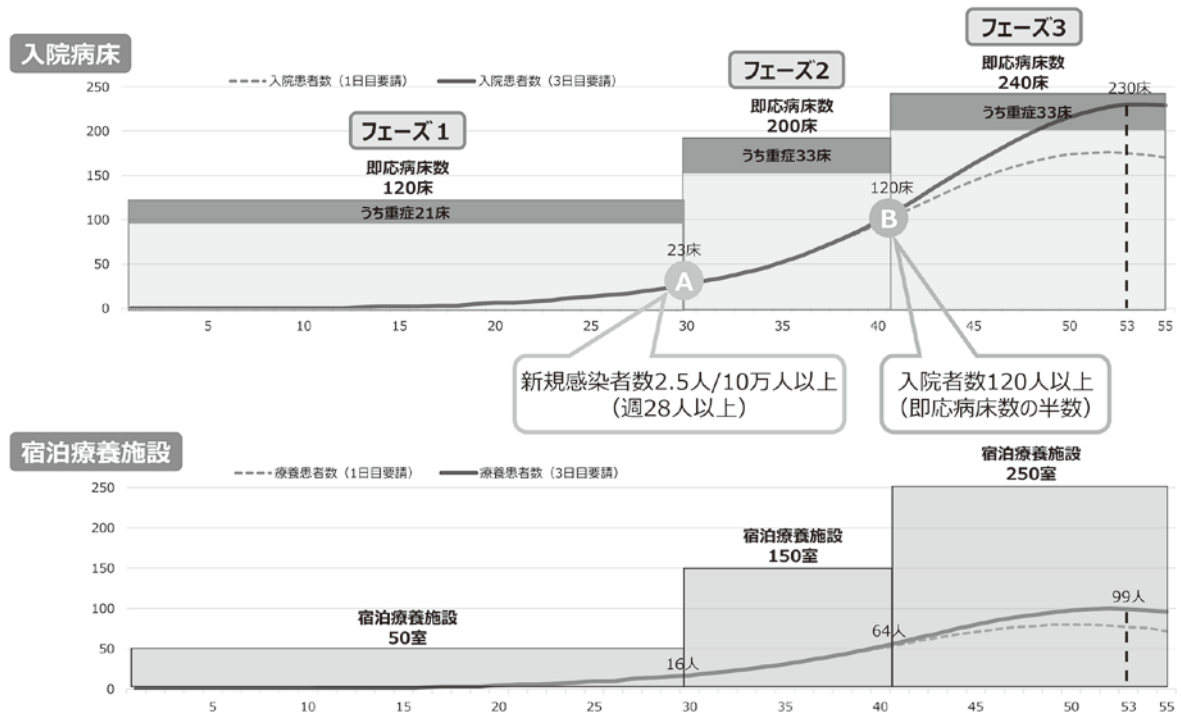


図2 病床・宿泊療養施設の確保計画

入院病床数は各フェーズで120床・200床・240床とし、うち重症を21床・33床・33床確保するとした。フェーズ2から3の移行の目安は入院病床数の半数を超えたときとした。病床確

保の区分とは別に、県民の行動規制として圏域ごとの感染状況に合わせて3区分（緑・黄・赤）し、警報発表の表示を3レベル（警報・特別警報・緊急事態宣言）とした（図3）。

表 示	警報発表目安	対 応 例
 レベル0 (持続的な警戒)	感染者のすべての濃厚接触者の健康観察期間が終了し、新たな感染者が出ていない（全ての圏域が（緑）圏域）	県全域において、（緑）圏域の対応
 レベル1 (警報)	新規感染者が一定に収まっている（（黄）圏域が2つまで）	圏域ごとに、（緑）圏域の対応、（黄）圏域の対応
 レベル2 (特別警報)	①新規感染者の増加、感染経路不明の例が続発（直近1週間）、②感染集団（クラスター）の発生（（黄）圏域が3つ以上、または（赤）圏域が1つ）	圏域ごとに、（緑）圏域の対応（ただし、他圏域での感染防止に注意）、（黄）圏域の対応、（赤）圏域の対応
 レベル3 (感染拡大緊急警報)	特定の圏域において、①新規感染者又は感染経路不明の急増（直近1週間）、②クラスターの発生	・積極的疫学調査（徹底的なPCR検査） ・「対策徹底要請」 ・「うつらない」「うつさない」ための行動変容のお願い
 レベル4 (緊急事態宣言)	県全域において、①新規感染者又は感染経路不明の急増（直近1週間）、②クラスターの続発、③入院病床稼働率の逼迫	（赤）圏域の対応及びその他の必要な対応

図3-1 警報発表の目安

圏域ごとの感染状況の区分		対 応 例		
		県民の方の圏域内の外出	県主催のイベント等	県有の公の施設
（緑）感染未確認圏域	・感染者のすべての濃厚接触者の健康観察期間が終了し、新たな感染者が出ていない	○原則、自粛なし	○実施	○開館
（黄）新規感染者が限定的な圏域	・新規感染者が一定に収まっている	○状況に応じ、慎重に（過去のクラスター発生施設等に注意）	○状況に応じ、実施（屋内で50人以上のものは控えるなど、規模縮小を含む）	○状況に応じ、開館（入場制限などの利用制限）
（赤）感染状況が厳しい圏域	・新規感染者の増加（直近1週間） ・感染経路不明の例が続発（直近1週間） ・感染集団（クラスター）の発生	○原則、自粛	○原則、中止又は延期	○原則、閉館又は利用制限

図3-2 圏域ごとの感染状況と対応

このレベルは1圏域での急な感染増加にともなう7月28日協議会で4レベルに変更し、感染拡大緊急警報が発令された。また、入院病床確保の影響による経営圧迫に対する新たな病床確保推進の支援策により、病床使用時は加算措置の診療報酬によるが、未使用中の病床に対しても感染対策確保病床と確保のための休止病床に対する確保料がでることになった(図4)。8月15日現在の宮崎県の入院確保病床数246床、宿泊施設は300室である。幸い第2波での病床占有率は軽症者・無症状者が多かったことによる宿泊施設の利用により4割に留まった。

最後に、秋以降の新型コロナウイルス感染症発生に向けて、①検査体制、②入院体制は今の状態で大丈夫か。①検査体制について：今回宮崎県福祉保健部は総動員で対処してPCR検査実施に努め1日400件超を検査したが、医療機関や有症状者は必ずしも満足していない。インフルエンザと重複して発生するときに備えて、より一層の検査体制の拡充が望まれる。行政と契約を結べばPCR検査などを公費負担でできるので、自院検査導入をぜひお願いしたい。唾液検査によるPCR検査を導入すれば有症状者の不安解消と同時に感染リスク軽減も図られ、検査までを簡便化できると思われる。②入院体制について：今回は県内全域での感染拡大とまでは至らず、地域で入院病床占有率に差が出た。逆に一部圏域

に発症が留まったことで圏域を超えた相互協力できたが、すべての圏域でクラスターが発生すると、医療資源の少ない多くの圏域で病床が埋まり相互協力ができないと想定され圏域ごとの準備病床確保が尚一層必要と考えられた。また、重症化リスクの少なかった今回でも重症対応の指定医療機関に入院は集中し、医療事故につながりかねない状況までスタッフは疲弊した。重症化増加が予測される秋以降では33床の重症対応(呼吸器管理)病床を確保するとともに重症対応医療機関から中等症・軽症者を受け入れる協力医療機関の確保が必須である。重症対応医療機関にのみ多大の負担をかけない医療体制整備にむけて、地域の中核医療機関の一層の協力を仰ぎ感染者対応を滞りなく進めたい。当初、人工呼吸器のある医療機関はすべて呼吸管理患者を受け入れるものと計画されていたが実際には呼吸管理できる施設は限られ、いま新型コロナウイルス感染者の人工呼吸器の稼働可能数は数台のみである。呼吸管理の必要な重症者対応の体制はこのままでは破綻する恐れが強い。今まさに感染対策のために必要な情報を皆で共有して、必要充分な県の予算措置によるスタッフの充実と機器整備を計り、重症者への適切な治療が提供できる県下一体の体制構築が必要と感じている。感染対策に対しての一層のご協力をお願いします。

	要件	病床確保料の上限額
重点医療機関	- 都道府県が指定 - 病棟単位で新型コロナウイルス感染症患者あるいは疑い患者用の病床を確保 - 確保しているすべての病床で、酸素投与及び呼吸モニタリングが可能 ※看護体制の1単位をもって病棟として取り扱う。	ICU 1床当たり 301,000円/日 HCU 1床当たり 211,000円/日 上記以外の病床 1床当たり 52,000円/日
協力医療機関	- 都道府県が指定 - 新型コロナウイルス疑い患者専用の個室を設定して、新型コロナウイルス疑い患者を受け入れるための病床を確保 - 確保しているすべての病床で、酸素投与及び呼吸モニタリングが可能 - 受け入れるための病床は個室であり、トイレやシャワーなど他の患者と独立した動線を確保 - 必要な検体採取が可能	ICU 1床当たり 97,000円/日 重症患者・中等症患者 1床当たり 41,000円/日 上記以外の病床 1床当たり 16,000円/日
上記以外	- 対象施設は新型コロナウイルス感染症患者等を入院させる医療機関 - 対象病床は新型コロナウイルス感染症患者等の入院のために確保するものとして都道府県等が厚生労働省に協議した病床	

図4 病床確保料の上限額及び要件

日州医談



医師国保からみた新型コロナウイルスの影響

理事 佐々木 究

1. 初めに

コロナ禍により医療機関の経営が悪化しており、そのデータが少しずつ出てきています。ここでは医師国保の療養給付の件数（レセプト数）と費用（給付費）を経時的に調べてみました。レセプト数の減少は受診控えを反映します。給付費とは医療費のことで医科・歯科診療費、調剤費等からなり、医療機関の収入を反映します。宮崎県の医師国保は医師とその家族、合計1,512名の被保険者からなりますが、その医療の動向は他の保険者と変わりはありません。医師国保で起こっていることは程度の差こそあれ、協会けんぽ、市町村国保にもあてはまりますので、医師国保の給付状況を調べることで、県内の医療機関の経営状況がある程度うかがい知ることができます。そこで今年の1月から6月までのレセプト数と給付費を前年同月と比較してみました（図1,2）。ちなみに給付費は過去5年分を平均すると、毎年4.7%増加しています。

2. 結果

1月の時点で前年同月と比較するとレセプト数、給付費は減少しています。今年の冬はインフルエンザの流行がなかったのも原因の

一つかとは思いますが、この時期からすでに新型コロナウイルスによる受診控えが起こっていた可能性があります。月を追うごとに減少幅は増加し、しかも半年間続いています。3月の給付費はプラスになっていますが、これは今年度、高額医療費が発生したためです。6月にはレセプト数の減少幅は改善していますが、給付費は約45%もの減少になっています。これには2つの要因があり、一つは前年度に高額医療費が発生していたため、もう一つはおそらくはコロナ禍の影響で医科の入院医療費が前年度に比べ78.6%も減少しているためです。いずれにせよ多くの医療機関で深刻な経済的打撃を受けていることが推察できます。コロナ禍で今年度の医療費は10%減少するだろうといわれていますが、はたしてそれですむでしょうか。このままだと医療機関の経営難による医療崩壊が起こる可能性があります。

3. いつまで続くこの状況

医療機関を経営されている先生方にとって、受診控えと医療費の減少がいつまで続くのかが関心のあるところかと思います。給付費は2か月遅れて確定されますので6月分までが最新のデータです。7月から第二波が始

まり、宮崎県においても感染者数が増加していますので、7・8月も減少率はおそらく底をはったままでしょう。

新型コロナウイルス感染が始まってから8か月間経った現時点での死者数は約1,300人です。一方、インフルエンザウイルスによる死者数は政府の人口動態統計によると平成30年が3,325人、令和元年が3,571人です。これだけから見ると新型コロナウイルスによる死者数はインフルエンザウイルスのそれよりも少ないように思えます。しかし第二波による感染者の急増により、重症患者数も増加傾向にあり予断をゆるしません。また新型コロナウイルス感染症は指定感染症に指定されていますので、感染者の入院隔離措置が原則必要です。そのため感染症指定医療機関、宿泊療養施設のベッド数のひっ迫が再度懸念されています。このような状況下では経済を優先

することは困難なため、受診控えと医療費の減少は今後もしばらく続きそうです。医療機関の経営もそれを見越した対応が必要になってきます。

死者数を少なく抑えて、また重症者による医療機関のひっ迫もなく第二波をのりきることができれば、指定感染症の解除や経済と両立するコロナ対策も議論されてくるでしょうから、それに期待しています。

4. 終わりに

医師国保は今年が5年間にわたる補助金削減の最終年度になります。この間、経営は赤字に陥り積立金の取り崩しと保険料の値上げで対処してきましたが、今年度は給付費の減少により黒字に転じそうです。しかし今の状況ではそれを喜ぶことはできず、コロナ禍が一刻も早く収束することを願っています。

対前年同月比 (%)

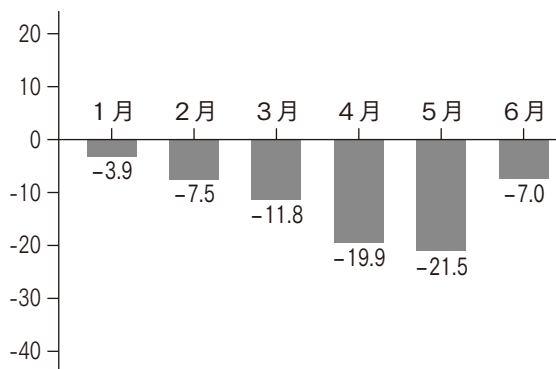


図1：宮崎県医師国保のレセプト数の対前年同月比

対前年同月比 (%)

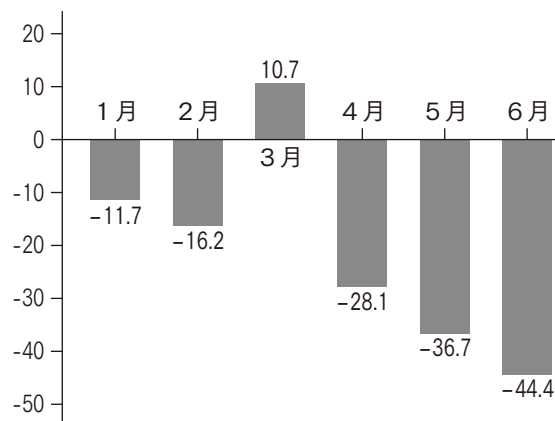


図2：宮崎県医師国保の療養給付費の対前年同月比

は ま ゆ う 随 筆

その3

(7,8,9月号に分けて掲載しております)

77年をふり返って

宮崎市 富吉共立病院 し し め 獅子目 あつむ 輯

77歳、思えば遠くへ来たものです。振り返れば、都城に生まれ育ちました。小学生のころは終戦後の真っ只中でみんな貧乏でした。下駄を履いて登校し裸足で遊んでいた。給食もなく弁当もない子もいた。鉄くずを拾う子もいて「これは『銅』これは『真鍮』」と見せてくれた。

そんなことが思い浮かびます。中学になると、父は宮崎に病院を移転したので、家族は都城に残って借家暮らしとなった。辛抱と我慢の日々が続いた。だがこれで少しは根性がついたようだ。出来の悪かった私が兄と同じ名市大に入学し、同じ整形外科へ入局した。幸運だった。その後10年は関連病院で救急や多科の疾患にも接した。

昭和56年義父（外科）とともに病院を開業した。うん億円の借金を背負い、当時の金利は9%と高利で「潰れる」と世間では言われた。

病院の3階に住み子育てをする生活が始まった。毎日当直し、土曜は3時まで働いた。

救急車も受け、遠くまで往診し、時には検死にも対応した。

妻は何の経験もなかったが、事務長としてともに働いた。借金の返済、職員の雇用など特に大変だった。銀行から出てくる時は厳しい表情をしており、それを見た子どもは「銀行の顔」

をしていると言った。税理士が帰った後、夫婦で「お互い戦友なので頑張ろう」と話していると、近くにいた娘は「経費で落とす」とも言っていた。30年かかってやっと返済できた。幸運にも夫婦とも大病もせず働けたからでしょう。今は慶明会にお世話になって10年が経った。

子どもが幼い時、稲穂を見ると、「実るほどこうべを垂れる 稲穂かな」と言い、立派な人ほど腰が低いと教えた。大人になると、「いつまでも あると思うな 親と金 ないと思うな 運と根」と言っている。姉妹2人になってからも、元気で仲良く生きて欲しい。

一方、妻との結婚が幸運の始まりだったと感謝している。

新規開業は家族を巻き込んでの、気力と体力、それに運と根を要した戦いでした。



映画“無法松の一生”の 蜂須賀医院

宮崎市 蜂須賀クリニック はちすか ひろし
蜂須賀 裕 志

私の祖父蜂須賀誠二は福岡医科大学（現九大医学部）の1回生で、皮膚科、泌尿器科教室の第1号の新入医局員であった。最初は小倉に皮膚科、泌尿器科を開院して、後に門司港駅近くで開業していた。

北九州の小倉には小倉祇園太鼓があり、映画“無法松の一生”の中で披露されている。無法松の一生の原題は富島松五郎伝で、作者岩下俊作は明治39年に福岡県に生まれ、小倉工業学校を卒業した。八幡製鉄に勤務しながら作家活動を行い、昭和14年に同人雑誌九州文学に富島松五郎伝を発表して認められた。

物語は小倉の人力車引きの富島松五郎（通称無法松）と、友達となった矢先に亡くなった陸軍大尉・吉岡の遺族である未亡人良子と息子敏雄の交流を描いたものである。

いじめられてけがをした少年（敏雄）を、通りがかった松五郎が抱きかかえて、敏雄の自宅に連れ帰っていた。屋敷の門を入ったところのシーンである。

松五郎：ごめん。

吉岡夫人：はい、敏雄がどうか。

松五郎：大したことはないが、とにかく医者に連れていかんや。

吉岡夫人：ご面倒ついでに蜂須賀さんにおねがいします。へい、私もあとからいきますけ。

そのあと病院のベッドの上で足に包帯を巻いているシーンに変わる。

原作の富島松五郎伝では次のように描かれている。

松五郎：あんた方のボンボンが怪我をしたので、連れてきたが。

吉岡夫人：まあ一敏雄。

松五郎：奥さん、大したことはないが、医者につれて行かにやあ。

吉岡夫人：どうぞ早く病院につれていつて。

松五郎は泣き叫ぶ敏雄を、軽々揺り上げて病院へ走った。

残念ながら原作では蜂須賀医院へのセリフと、病院でのシーンは見られない。

無法松の一生はこれまでに4回映画化されている。最初は1948年の坂東妻三郎、次いで1958年に三船敏郎、1963年に三國連太郎、1965年の勝新太郎が主演している。これらの中で有名なのが坂東妻三郎と三船敏郎のものであろう。この2本と、1965年の作品は脚本を伊丹万作（伊丹十三の父）が書いている。伊丹万作は松山の出身で、中学まで松山市に住んでいた。小倉の町に詳しかったかは分からない。映画の舞台は大正3年の第1次世界大戦、日独戦争時の小倉が舞台である。当時は祖父が小倉で開業していた時期に当たる。実在していた蜂須賀医院の名前を脚本に取り入れたのは、幼少期の作者岩下の蜂須賀医院の記憶が取り入れられたのかもしれない。

卒後20年

宮崎市 むろい皮膚科・アレルギー科 室 井 栄 治

今年の2月、出身大学の同窓会から同窓会誌への執筆依頼が届きました。卒後20年についての随筆をとのことでした。今もそうですが、学生時代の私は特に目立つようなこともなく地味でしたのでこのような依頼に驚きました。文章に関しては本を読むのは好きですが、書くのは苦手であり、かろうじて仕事上の必要性から論文は書いていましたが、今ではそれもなくなっている状態です。何とか卒業後20年間の職歴などの事実を書き、感想というよりは考察を述べ、導入部分と結語を付け足すという、まるで論文のような構成の稚拙な作文を提出しました。

6月になり、私を含めて5名分の文章が掲載された同窓会誌が届きました。コンピュータを苦手とする私ですら使用するくらいに普及しているSNSのおかげで、同級生の近況や集まりの様子が分かる時代ではありますが、まとまった量の文章を読むと伝わってくるものが多く感慨深かったです。

入学時40歳代で、当時同じ年齢の人物としか学ぶことを知らなかった私に大学生の多様性を認識させてくれた同級生は「還暦を疾うに過ぎた」とつぶつぶいて、私も更に20年生きていたものだと感じました。母校や出身地の大学で要職に就く同級生もあり、たくさんの人たちに貢献していることを素晴らしいと思いました。また専門性を磨くため国内留学し、その後再び指導する立場でその施設に勤務し、専門性を深めている同級生を頼もしく思いました。皆それぞれの道を進みながら充実した日々を送っている様子が伝わってきました。

同窓会誌が届いた数日後に部活動の先輩から

「同窓会誌読んだよ」との手紙が届き、驚きました。メールアドレスを交換し、お互いのこと、知っている仲間の近況を伝えあうことができました。

来年1月に卒後20周年祝賀会が予定されていますが、新型コロナウイルスの心配なく、無事開催され、同級生と会えることを心から願う日々です。

てげてげ医者の眩き

宮崎市 いちはら医院 市 原 美 宏

私は今年77歳となる。そろそろ人生の始末書を書く年齢と思っている。医師に限らず同世代の人々の中でどうであろう。この年齢でそのように感じるのはニヒリズムに偏っているのだろうか。

医学生のあるころ、3か月の解剖実習を終えて実習仲間に魂も心もみつからなかったと吐いたことと、臨床講義である教授の「ほとんどの病は治らない」といった風な言葉の断片を強く印象づけられていることは今にして思えば、どうもニヒリスティックな性向がすでにそうした感受性としてあったのだと思うしかない。

ただ一方で、私はオプティミストでもあると強く感じている。これは両立してもおかしくはないのではないだろうか。少なくとも私の中でこの50年間の医業の中で矛盾なく両立していたと思う。

私はほぼ、飲酒の経験がない。一方喫煙は20歳のころからこの年まで常に身近にあった。それでも何とかここまで医業に特にこの30年宮崎

で、自称「かかりつけ医」に携わってこられたのは、もしかするとこのニヒリズムとオプティミズムの並立がいわば中道的バランス感覚を保たせてくれたのかもしれない。それでも少しずつ医師としての日々にはストレスは残っていく。77歳にしてちょっとバーンアウト気味を自覚し始めていたようなのである。

そうした中で昨年後半、私の後継者候補が身近に出現し、みるみるうちに現実化し、この6月にいちほら医院に副院長が就任する運びとなった。この副院長についての紹介は別の機会に譲らねばならないが、事私に関しては近いうちに何らかの開放あるいは転進が得られそうな雲行きになっているのは全く望外のこととっていい。

ただし日々の診療といういわば「よすが」を失ってしまうのだとすれば、そこで私はどのような「老後」を迎えることになるのか今のところ霧の中ではあるのだが。



コロナ報道に思うこと

宮崎市 竹迫医院 はる やま ゆき ひろ
春 山 幸 洋

初めましてとなろう諸先輩先生方も多くいらっしゃるものと存じます。2000年に岐阜大学医学部卒業後、宮崎大学医学部旧第一外科、夏田康則先生の率いられる宮永病院で育てていただき、2018年4月から現在の竹迫医院に赴任

いたしました。消化器外科医としての経験はなく、かかりつけ医としての役割は何か、自問自答しつつ診療にあたる毎日です。近隣の先生方には、頓珍漢な診療内容でご迷惑をおかけいたしていることであろうかと思います。この場を借りてお礼申し上げます。

赴任して約2年が経過し、クリニックがようやく軌道にのりかけた本年初頭にCOVID-19感染症がマスコミで騒がれ始めました。何人感染した、何人亡くなった、PCRが足りない、呼吸器が足りないと、それを知って誰が得をするのかわからない、ただただ過剰なまでに不安をあおるだけの報道を連日連日繰り返すマスコミに正直違和感を覚えました。子どもたちは臨時休校でステイホーム中だったのですから、時間を区切ってテレビで可能な範囲で子ども向けの授業を放送したほうがずっと有用であったように思います。

加えて、さもPCRをしないから患者さんが亡くなった、という切り口で語られ、まるでPCRが治療薬のような扱いをされました。治療に直結しないPCR件数をやみくもに増やすことは、貴重な医療リソースを無駄に割くこととなります。政府は、日本人のモラル（麻生さんの言葉を借りれば「民度」）を信じて、自粛という名の全国民の隔離を行ったわけですが、結果他国と比べて被害は軽くすみしました。政権対応が満点だったとは全く思いませんが、正当に評価すべきところは評価し、人々を安心させる報道をすることもマスコミの重要な役割だと思います。

ワクチンと治療薬が誕生し、COVID-19感染症が流行性感冒の一つとして扱われるようになり、社会全体が以前の日常に戻れる日を心待ちにする毎日です。

新型コロナウイルスとの戦い

宮崎市 古賀総合病院 みなみ しま よう いち
南 嶋 洋 一

新型コロナウイルス感染症のパンデミックの下、「見えない敵との戦い」なる文言が飛び交っている。この感染症を、ウイルスの生存戦略という視点で眺めてみる。「敵を知り己を知らば、百戦危うからず」である。

新型コロナウイルスは、人間の生存に不可欠な行為である呼吸を利用し、気道に侵入して感染する。しかもその際、ウイルス粒子は、細胞表面にあるACE2受容体に結合し、細胞のセリンプロテアーゼを利用して細胞内に侵入する。なお、感染者の8割は軽症であり、無症状感染者もあり、彼らは歩き回ってウイルスを拡散する。残りの2割の感染者は重症化するが、治療・看護に当たる医療従事者にウイルスを伝播し、クラスターを発生させる。強毒で感染者を殺し、自らも死に絶える愚かなウイルスと異なり、新型コロナウイルスは、生き残り術に長けた、賢い、人間にとっては厄介なウイルスである。

新型コロナウイルスの生き残り作戦の裏を搔くには、現行の密閉空間、密集場所、密着場面を避ける「三密回避作戦」が、確立された治療法とワクチンがない現時点では、合理的で不可欠の予防策である。

我々から三密回避という選択圧を受けた新型コロナウイルスが、今後どのような生き残り方をしてくるか、その生存戦略の変化に関心がある。宿主である人間の変容した生活様式に適応した変異ウイルスが出現し、生き残るであろう。

現在、米国を筆頭に、ブラジルなど世界各地

で感染爆発が起こっている。

我々が採るべき対策は、「悲観的に準備して、楽観的に対処せよ」(故 佐々淳行氏)に尽きよう。想定される最悪の事態は、いわゆる医療の崩壊で、命の価値に格差が生じること、格差を付けざるを得なくなる状況ではないであろうか。すなわち、我々高齢者や基礎疾患を持つハイリスク者を、限られた医療資源や救命医療の対象とせず、治療は生産性がある若年者を優先することである。下手をすると、後世、人類の歴史に、「新型コロナウイルスは高齢者と貧弱者や医療弱者を淘汰して、人口増加を抑制して適正化した」と記述されかねない。

公衆衛生・防疫(感染制御)と個人情報・私権(社会・経済活動)はトレードオフである。罰則をとまなう強権的な都市封鎖策をとる国がある中で、わが国の対策は緩やかな行動自粛要請である。なお、スウェーデンのように、感染の成り行きに任せ、集団免疫による終息を期待する生態学的な対応もある。しかし、その間高齢者施設で多数の死亡者が出ており、集団免疫の成立も予想より遅れている。感染症に関する医学・医療は反生態学的であるべきである。

今正に「ウイルスとの戦争状態」であるという。ならば、米国のマチス元国防長官の「戦場で何より重要な6インチは、自分の耳と耳の間である」という言葉を、ともに、噛みしめよう。

感染症は繰り返す。先行事例に学び、「敵を見て矢を矧(は)ぐ」愚行を避けたいものである。

(2020年6月26日)

地域医療枠医師へ最大の支援を

日南市 きよひで内科クリニック かわ の きよ ひで
河 野 清 秀

父96歳，母93歳の両親のために，週末には
飢肥の実家に帰っています。両親は若いころの
話をよくします。父は海軍航空隊整備士として
台湾に従軍し，特攻機の整備をしていました。
大学出の士官は「どうせ国のために死ぬんだっ
たら，もう少し立派な飛行機で死にたい」と旧
式の飛行機に涙を流しながら飛び立って行きま
した。また18歳の特攻兵はまだあどけなさの残
る少年の顔だったとも。父の人生の中で「一番
もぞなぎかった」と言います。涙なしには語れ
ない話です。

さて現在，私は要コロナ対応患者を毎日別室
で手作りの防具をつけて診ています。日曜当番
医では診療所前にテントを設置し，夜間急病セ
ンター勤務では一般診療室で緊張しながら診て
います。医療の戦いの最前線にいる事をあらた
めて身に染みて感じます。

ところで本年5月号の日州医事には，宮崎大
学は地域医療枠で25人の若者を採用するとあり
ました。彼らは地域に貢献するためかかりつけ
医，総合診療医になることを望まれています。
コロナのような新興感染症にも対応しなければ
なりません。地域枠で入学した医師は9年間の
義務年限のうち4年間を医師少数地域に派遣さ
れるとのことでした。

私の40年の内科臨床医師，20年間の総合診
療医，かかりつけ医の経験から考えますと経験
9年内の医師が医師少数地域で診療するのは大
変な負担だと思います。彼らの負担軽減には最
大の支援が必要です。それにはICTを整備し，

on Line検討会，回診などで大学医局員のように
切磋琢磨し経験豊富な医師の指導を受けられ，
臨床研究などの発表ができ，指導者への登壇の
道が開かれていなければなりません。また医師
を支える関連要員の充実も必要です。

私がかかりつけ医としてとても困惑すること
は，市民が「国民皆保険制度はみんなで支え合
う制度であり，日本の医療はサービス業ではな
く社会契約であること，維持するには市民の協
力が必要なこと」の理解が不十分であることで
す。政治家，教育界や医師会などの指導者はこ
のことを国民に訴え，理解してもらう努力を重
ねなければならないと思います。

医療の問題を若い医師に押し付けるのは現代
の特攻隊員を作ってしまうのではないかと危惧
しています。我々は二度と若者を犠牲にしては
いけません。

我々は今までの経験を活かし彼らに最大限の
支援をしなければなりませんし，私は支援した
いと考えます。



鯨飲のプラハ

宮崎市 古賀総合病院 後藤 崇^{たかし}

コロナ禍の中、ビール党の私はコロナといえ
ばビール、ビールといえばプラハ、とかなり恣
意的ですが、以前「ビールと古本のプラハ」
(千野栄一 著) という古書に誘われプラハを訪
れたことを思い出します。本に紹介されている
「U Zlateho Tygra (別名：黄金の虎)」という
ビアホールを目指す3泊5日弾丸ソロツアーで
した。旧市街の一角にあり「世界で一番美味い
ビールを饗する」と謳われる一見さんお断りの
有名店(クリントン元米大統領も来訪)です
が、開店直後1時間は観光客でも入店可能で
す。開店前から大勢が並び、開扉と同時に雪崩
を打って各自着席、直後にピルスナーウルケル
がジョッキでドン、と出てきました。横に置か
れた紙切れにペンでシュッと線が引かれます。
何も注文してませんが、とにかくこのためにわ
ざわざ来たのですから期待値Maxの中、んむ、
んむ、んむ、と一気に飲み干しました。薫り高
く麦の甘みとホップの苦味が絶妙の按配で、想
像を遥かに超えた期待以上のビール! 思わず
「うんメェ～」と叫んでしまいました。隣席か
らのググジョブコールの合間に次の杯がドン、
と置かれ紙に一本線が加わります。どうやら
“わんこビール”システムのように、もう勘弁
というまで延々と出てきます。それでもこの上
なく芳醇で美味なる珠玉のビール、ツマミなし
でもクイクイ杯は進みます。やがて紙切れの線
が9本(!)の時点でギブアップ。タプタプの
腹を抱え店を後にしました。ゴキゲンな酔っぱ
らいの私は、夕日に染まるモルダウ川の畔でバ
イオリンおじさんと歌を歌ったりして。ああ、
なんて美味しく楽しく、美しい思い出なんで
しょう。何年経っても美酒の余韻は覚めやら

ず、追憶も色褪せることはありません。今の
ご時世、ロックダウン中に昔の恋人の夢をみる人
が増えているとか。鬱屈した自粛生活の中では
“楽しく” “振り切れた” 記憶ほど懐かしく思い
出されるのかもしれません。



新庁舎建設

西都市 いわみ小児科医院 いわみ 岩 見 晶 臣^{あき おみ}

西都市役所の新庁舎新築工事が昨年11月から
始まりました。基礎免震構造の5階建ての建物
で、2021年3月完成予定です。免震構造とい
うのは、地面と建物本体の間に免震装置を挟
み、地震の際の揺れを緩和するというものだそ
うです。

実は我が家の2階の居間からその工事現場が
半分ほど見渡せるので、工事の進捗状況がよく
わかります。昨年11月の起工式の後、建築現場
の整地に始まり、予定地を囲むように鉄の板を
打ち込み、次に数十本もの杭打工事。そのあと
敷地全体を数メートル掘削し、そこにコンクリ
ートを流して巨大なプールのような構造物がで
き上がりました。その中に免震装置を並べ、そ
の上に5階建ての建造物を作るという工程では
ないかと想像しています。それらの工程でさま
ざまな重機が搬入されました。大きな重機にな
るとその組み立てだけで1週間ぐらいかかるもの
もあり、その風景にワクワクします。見慣れな
い建設機器を見るとネットでその働きなどを調

べます。免震構造も少し勉強しました。多分アイソレータやダンパーという装置を使用するのではないかと思います、まだそれを設置する以前の基礎工事の段階のようです。起工式からすでに8か月経過するのに、いまだにこの状態で、これで来年の3月に完成するのだろうかとか心配になります。

最近は外来がすっかり暇なので、2階の窓からよく工事の風景を眺めています。免震装置の搬入を見逃さないように観察しているのですが、あまり熱心に見ているので妻が、「手伝いに行っておいたら」とよくからかいます。さすがに私の年齢の作業員さんは見かけませんが中年の人も多いようです。午前8時から昼休みの休憩をはさんで、夕方5時まで、少々の雨でも休むことなく作業は続き、皆さん本当によく働きます。長袖シャツ、長ズボン、長靴にヘルメットとマスク着用をして作業をしています。熱中症が心配です。これから梅雨が明け、本格的な夏になった時、あの格好で大丈夫だろうかとか心配になります。作業員さんの事故がないことを祈りつつ。工事の新たな展開を楽しみにしている今日このごろです。

ロストフの14秒

宮崎市 細川内科クリニック ほそ かわ かず よし
細 川 和 義

とある日曜日、ステイホームということで、家の中の片付けや溜まった書類の整理を黙々とこなしていく…筈だった。しかし、書類の整理中に税理士さんから頂いた書類を見つけたとたん、現実逃避？で録画して溜まったままのスポーツ、映画などの整理を始めた。部活動はして

いなかったが、とりわけサッカーと野球が好きで、2年前のサッカーロシアW杯の映像を引っ張り出してきた。中継があった分は全試合録画していたが、何度も日本戦を観るので、全試合視聴はまだできていない。10回以上見直していたが、またもベルギー戦を再生してしまった。試合は予想外の善戦で後半3分の柴崎から原口へのスルーパス、6分の乾の無回転シュートなどの場面は一時停止にして、スロー再生することが多く当然時間がかかってしまう。この試合2対0になったとき、当時は勝ったと思った。NHK解説の山本昌邦氏も素っ頓狂な歓声を上げていた（松木安太郎氏ではないので念のため）。その後ご存知のように逆転され負けてしまうが、最後の最後にコーナーキックからのボールをキャッチしたGKからの超高速カウンターで、まさかのゴール前のルカクのスルーがあり、14秒で決められてしまうのである。後にNHKが特番で「ロストフの死闘」として放送し、両チームの選手、監督のインタビューとともに、詳細な14秒の解説がされていた。たぶんこんな番組は「江夏の21球」以来ではないだろうか。強豪相手に2対0でリードすることはおそらく日本は想定外で、次にどうするかプランがなかったようだし、ベルギーは負けていても余裕があり、相手を研究し最後のプレーにいたっては最後尾からデブリュイネが高速ドリブルを仕掛け、一斉に5人も反応していた。つまり、強いチームはあらゆることを想定し対応する準備があった。サッカー経験者のMR君に聞いてもあのプレーは異次元とのことだった。

かつて長嶋茂雄氏は「野球とは人生そのもの」と言っていたが、想定外の事態にも備えておく大切さをスポーツは教えてくれるようだ、などと思っていると同居人からの一言。「また、同じものをみているの？ いい加減、片づけたら」これは想定内。

新型コロナウイルスは、ヒトの生活にパラダイムシフトをもたらすか？

宮崎市 九州厚生局宮崎事務所 ほん だ まさ ゆき
(非常勤) 本 田 正 之

今このウイルスが世界中の人々に対し、もっと言えば全人類に対し猛威を振るい、猖獗を極めていることは、今更あらためるまでもないだろう。

そしてその病態の詳細な説明や治療法の確立は、今後を待たなければということ故に、すでに国内で969人の方が亡くなったとされ(6/25/20現在、厚労省)、海外も含めると約48万人(WHO)と言う。誠に思いがけない災難であって、心から哀悼の念を禁じ得ない。

この感染症の拡大防止の重点は、飛沫予防・接触予防にあることから不要不急の外出や一部営業の自粛が求められ、ソーシャルディスタンス、マスクの着用、避三密(密閉・密集・密接を避ける)などの励行が強調された。またそれとともに通常の社会生活においても、テレワーク(仕事)、オンラインショッピング(買物)、オンラインミーティング(会議)、オンライン学習(教育)、更にはオンライン診療(医療)の整備などとまさに激変と言わざるを得ない出来事が起きている。

これは、近年の急速なデジタル技術の発展・普及により身近に浸透したデジタルツールを活用することで、今回の難局を乗り越えようとする社会・企業の動きだが、同時にそれは現在の我々の生活環境においてIT技術がすでに人の生活の仕方を変化させ得る存在であることを示しているし、またその実行を可能とする社会的・人的インフラ整備もそれなりの蓄積があることをも示していると言えよう。

今年の日本産婦人科学会は4月23日から開催されたが、急遽Web参加ということになり、今回初めてオンライン学習を体験することとなったが、“視聴ページにお越しくください”といった気軽な感覚で、時と場所を選ばぬ、更には繰り返し視聴できるというメリットに、自由性・利便性の高まりを実感したところであった。

さて、第二波の襲来が懸念される現状では、“withコロナ”としてこの動きが堅持されようが、いずれ訪れる“afterコロナ”の社会では、どのような変化が現れるであろうか？ それは“withコロナ”下での一過性の出来事であったとして、“beforeコロナ”の元の社会生活に完全に後戻りするであろうか？ おそらくはそうではあるまい。人々の行動の変化は、意識の変革や新たな価値の創造として“afterコロナ”社会の「ニューノーマル・新常態」として定着するであろう。パラダイムシフトの確立である。そしてそこでの最大のインパクトはなんと言っても働き方(テレワーク)に見られるだろう。

新しい働き方のトレンドはまず脱通勤・脱満員電車であろう。“ウォーク(walk)からワーク(work)へ”のエネルギー転換である。

またそこには更なる展開・発展を秘めている可能性も極めて高く、脱一極集中：都市集中から地方分散へ、天空の集合住宅から地上の戸建住宅へ、制約環境から自由裁量へという新しいパラダイムがもたらす生活環境の変容が、ヒトの心に余裕と豊かさを与え育んでくれることを期待したいものである。

日州医事投稿についてのお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に依ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記・短歌・俳句・川柳・詩

題材：診療閑話、身辺雑記、詩歌、短歌、俳句など、なんでも結構です。

字数：4,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載できます。

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。

お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など、なんでも結構です。

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）※掲載は白黒となります。

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど。

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

■ その他

- ・ 恒例の夏の「はまゆう随筆」、年始の「新春随想」もごさいます。
- ・ 募集時期には日州医事でご案内いたします。
- ・ 随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しております。



なお、掲載につきましては広報委員会にご一任ください。

原稿の主旨を変えない範囲で、誤字・脱字の訂正や句読点の挿入をする場合があります。

【原稿送付・問合せ先】ご投稿は主にメールで受け付けております。

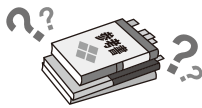
宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（本崎）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550

E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

本誌記事に対するご意見やご要望、アイデアなどもお待ちしております。

日州医事は、会員以外（マスコミ・行政・図書館など）にも配付しています。



あなたできますか？

—令和元年度 医師国家試験問題より—

(解答は58ページ)

1. 散瞳を認めるのはどれか。
 - a 動眼神経麻痺
 - b 有機リン中毒
 - c Horner症候群
 - d オピオイド投与
 - e Wallenberg症候群
2. 入眠困難を主訴とする不眠症の成人患者に対する指導として適切なのはどれか。
 - a 「一定時刻に起床し日光を浴びましょう」
 - b 「可能な限り早い時刻に就床しましょう」
 - c 「就床前にアルコール飲料を飲むようにしましょう」
 - d 「一晩に8時間以上就床しているようにしましょう」
 - e 「就床後、入眠できない時はじっと眠気が来るのを待ちましょう」
3. 被験者の検査1回当たりの放射線被ばくが最も多いのはどれか。
 - a FDG-PET
 - b 頭部単純CT
 - c 上部消化管造影検査
 - d 腹部ダイナミックCT
 - e 胸部単純エックス線写真
4. 3歳の女兒。右肘を動かさないことを心配した祖父に連れられて来院した。自宅で遊んでいた際、8歳の兄から右手を引っ張られた直後から右肘を動かさなくなった。右肘関節の橈骨頭周囲に圧痛を認める。同部に腫脹、熱感および発赤はない。肩関節と手関節とに異常を認めない。右肘関節エックス線写真で骨折を認めない。適切な治療はどれか。
 - a NSAID
 - b 徒手整復
 - c シーネ固定
 - d 肘関節包切開
 - e 肘関節可動域訓練
5. 繰り返す片側性の一過性視力障害を主訴に来院した患者に対し、診断に有用な診察または検査はどれか。
 - a 眼圧測定
 - b 視野検査
 - c 対光反射
 - d 頸部の聴診
 - e 眼球運動検査
6. HbA1cについて正しいのはどれか。
 - a 貧血の影響を受ける。
 - b グルコース以外の糖類も影響する。
 - c 過去1～2週間の血糖状況を反映する。
 - d 赤血球内の酵素反応により形成される。
 - e 我が国のメタボリックシンドロームの診断基準に含まれている。
7. 健常成人の血中濃度で食事により値が低下するのはどれか。
 - a GH
 - b インスリン
 - c グルコース
 - d トリグリセリド
 - e 遊離サイロキシシン〈FT₄〉
8. 「車を運転していて人をはねてしまったんじゃないかと思うんです。そんなことはないと分かっているんですが、どうしても気になります」という患者の訴えから考えられるのはどれか。
 - a 強迫観念
 - b 作為体験
 - c 罪業妄想
 - d 滅裂思考
 - e 妄想着想
9. 女性において若年より高齢で検査値が上昇するのはどれか。
 - a 肺活量
 - b 血清FSH
 - c 血清アルブミン
 - d 血清クレアチンキナーゼ
 - e クレアチニンクリアランス
10. WHOが公表した2016年のファクトシートによれば、低所得国よりも高所得国で上位にある死因はどれか。
 - a 交通事故
 - b 下痢性疾患
 - c 下気道感染症
 - d 虚血性心疾患
 - e 新生児仮死および出生時損傷

エコー・リレー

(541回)

(南から北へ北から南へ)

新型コロナと子どもたち

宮崎市 なつみ小児科クリニック あ べ なつみ
安 部

朝、車で通勤途中にふと、私とすれ違って走る兄弟に気づいた。

「診たことある。うちの患者さんだ」でも名前は思い出せない。小学校3年生と1年生くらいの坊主頭の

二人組だ。必ず腰に上着を巻いて、半ズボンで走ってくる。ある朝は、弟がかなり遅れて泣きべそをかきながら。次の朝は先に走る弟を、兄が見守りながら。「今日は弟を先に行かせたんだな」と想像した。ほぼ同じ時間に、雨の日以外は走っていた。

これは、今年2月末に首相の全国臨時休校要請がでて間もなくのころだ。休校期間は当初春休みまでとされたが、結局5月13日の分散登校開始まで子どもたちは行動を制限された。

小児科外来は他科と同様、装備のないまま発熱患者さんを診察し、感染の疑われる患者さんは駐車場で診察し、保健所での乳幼児健診は中止になり、非日常に突入した。私は患者さんと職員をどう守ればよいのか、不安で気持ちが滅入った。

職員や患者さんに「子どもたちが公園で遊んでいると警察に通報された」「自宅前で縄跳びをしていたら通りかかった大人に「家にいる」と注意された」と聞き、そのお母さんたちと憤慨した。

そんな中、二人組の競うように走る姿に、毎朝元気づけられた。

分散登校が始まるころには、二人とも少し体格がよくなって、並んで走っていた。私が未知の感染症を恐れたり、大人の態度に落胆している間に彼らは成長していた。

私は改めて、これからも子ども側の立場で働こうと思いました。

〔次回は、宮崎市の岩崎 直哉先生をお願いします〕

球 技

宮崎市 潤和会記念病院 かみべつぶ とよ はる
上別府 豊 治

「ナイスキィ!!」小学生の娘がバレーボールチームに入ってから数年になる。初めは何が面白いのかと思っていたが、なかなか奥深く熱い競技である。低学年の小

さな子も、ボールを落とすまいと必死に追いかけている。小学生は純粹で、指導者から叱られても必死に答えようとする姿には感銘を受ける。つい応援にも力が入ってしまうのだが、現在は感染症予防の観点から、大声を出さず心の中で叫んでいる。自分の学生時代を振り返ると、小学生の時に少林寺空手で武道の精神をたたき込まれ、中学以降は運動音痴であるにも関わらず12年間ソフトテニスが続けた。空手の演武を思い出すのか、緊張すると全身に力が入ってしまいぎくしゃくとした動きになってしまうのは、いまだに治らない。出身の山口大学では、中国四国大会と九州山口大会、双方への出場が認められており、九州へ四国へと遠征にばかり行っていた記憶がある。当時、宮崎医科体育大学と触れ込まれていた宮医大は、ソフトテニスの分野でも他間に漏れず強さを誇っており、練習試合を申込み毎年訪問していた。ある年、山口から一緒に出発したはずの先輩がなかなか到着しないので連絡すると「なんか高速道路の先に桜島が見えてきたっちゃけど、どうすればいい?」と言われた時には閉口した。団体スポーツは、己の弱さとチームプレイの大切さを学ぶには、うってつけでありこれからも機会を見つけて続けていきたいと思う。

〔次回は、宮崎市の河原 勝博先生をお願いします〕

メディアの目



「コロナ後」、発信すべき宮崎の魅力

時事通信社 宮崎支局長

ふな き やすし
舟 木 靖

生まれてくる命。一つでも多く救いたい。強い思いで周産期医療のレベル向上に挑み、全国ベストの周産期死亡率改善を成し遂げた宮崎の取組みについて、宮崎大学長の池ノ上克先生から聞いたことがある。私は、関わった医師の前向きな姿勢、困難な状況の中赤ちゃんや母親の命が助かったことに深く感動した。加えて今は、「コロナ後」の宮崎の発展のカギがそこにあると感じている。

本稿掲載時点では、残念ながら新型コロナ禍は収束していないだろう。感染拡大防止、医療体制構築、そして実際の治療に取り組む医療関係者の皆様には最大限の敬意を表したい。また大変な思いをされている中で「コロナ後」を考えることをお許しいただきたい。

だが、比較的安全で魅力に富む宮崎にとって、UIターン促進や企業誘致のチャンスがこれから訪れるのだ。知事や多くの首長は感染拡大防止に全力を尽くす一方で「ICTの浸透で移住などの可能性が高まる。国内回帰を強める企業の誘致に道も開ける」と期待。県内金融機関トップも「デジタル化が進展すれば、コスト負担の大きい東京などに事務所、工場を置く必要はない。宮崎のポテンシャルを全国に発信し企業誘致に結び付けたい。宮崎の新時代を目指す」と意気込む。

では、宮崎のどんな魅力をアピールして呼び込むのか。例えば「ゴルフ、サーフィン天国」。

私なら80台を出すまでコースに通い詰めたいし、波乗りは若いころからの憧れだ。「豊かな食」。宮崎牛、マンゴー、伊勢海老が食べ放題ならかなり幸せ…。

魅力的なことが本当に多いが、一つだけケタ違いに心に響く。それは「赤ちゃんが無事に生まれる」ことだ。私事だが他県にいた約20年前、我が子がこの世に生まれてこられるかどうかの瀬戸際にいた。「神様。子どもと妻を助けてください。私の命は差し上げます」。信仰心の薄い私でも本気でそう祈った。授かった命がこの世に生まれ出てくること、愛する妻も無事でいること。それが叶うのが最も素敵な場所なのだと思う。あの時、周産期医療のレベルを飛躍的に高めた宮崎にいればどれだけ心強かったことだろう。

おかげさまで妻も子も何とか元気でやっている。あの時死んでもいいと思っていた私は、子どもの学費を払い終えるまで死ぬわけにはいかなかったが体調は今ひとつ。最近、私の命の恩人である古賀総合病院名誉院長の栗林忠信先生に診てもらった。温厚ながらも眼光鋭く、問診、触診、画像やデータの解説を分かりやすくしてくれる名医の姿に接し、一患者として大きな安心を得て、生きる気力にもつながると感じた。

さて、コロナ後に宮崎が発信すべき最大の魅力。それは、医師、医療関係者に掛かっているのは間違いないと確信。大いに期待している。

表彰・祝賀

警察部外功労者表彰（警察協力章）

わ だ てつ や
和 田 徹 也 先生（日 向）

令和2年7月1日，警察協力章が授与されました。

衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



和田 先生



宮崎県感染症発生動向 ～7月～

令和2年6月29日～令和2年8月2日（第27週～第31週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核17例（男性6例・女性11例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症7例：都城（3例），高鍋（2例），宮崎市，中央（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳が2例，10歳代，40歳代，50歳代，60歳代及び80歳代が各1例であった。2例は無症状病原体保有者であった。5例の主な症状として腹痛，水様性下痢，血便，発熱等がみられた。原因菌のO血清型は【表3】のとおりであった。

4類：○A型肝炎2例：宮崎市，日向保健所管内から報告があった。10歳代及び30歳代で，主な症状として全身倦怠感，発熱，食欲不振，黄疸，肝機能異常等がみられた。いずれもA型肝炎のワクチン接種歴，海外渡航歴はなかった。

5類：○クロイツフェルト・ヤコブ病2例：宮崎市，都城保健所管内から報告があった。年齢は60歳代及び70歳代で，病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）であった。診断の確実度は，ほぼ確実と疑いが各1例であった。主な症状として進行性認知症，ミオクローヌス，錐体路症状，錐体外路症状，視覚異常，記憶障害，精神・知能障害，筋強剛がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で，血清群はB群であった。主な症状としてショック，腎不全，中枢神経症状がみられた。

○後天性免疫不全症候群2例：宮崎市，都城保健所管内から報告があった。年齢は20歳代と30歳代で，病型はAIDS，指標疾患は1例がニューモシスティス肺炎，もう1例がHIV脳症であった。主な症状として発熱，咳嗽，記録力低下（HIV脳症）がみられた。

○梅毒4例（男性3例，女性1例）：都城（2例），宮崎市，日向（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は30歳代（2例），10歳代，20歳代（各1例），病型は早期顕症梅毒Ⅰ期と早期顕症梅毒Ⅱ期（各2例）であった。主な症状として硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，眼症状がみられた。

○播種性クリプトコックス症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で，腹部異常陰がみられた。

○破傷風1例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で，主な症状は開口障害，嚥下障害，発語障害がみられた。

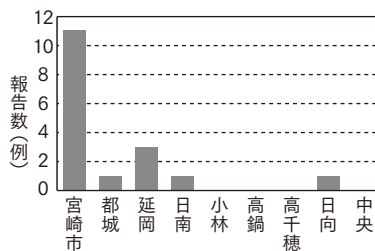


図1 結核 保健所別報告数

表3 腸管出血性大腸菌感染症
O血清群別報告数

O26 (VT1産生)	3
O26 (VT型不明)	1
O115 (VT1産生)	1
O157 (VT2産生)	1
O157 (VT型不明)	1

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	5
無症状病原体保有者	11
疑似症患者	1

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～9歳	1
10歳代	1
20歳代	1
40歳代	3
50歳代	1
60歳代	3
70歳代	3
80歳代	4

■指定感染症

○新型コロナウイルス感染症178例：保健所別，年齢別報告数は【表4】のとおりで，主な症状は発熱，咳，全身倦怠感等であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は1,808人（定点あたり53.0）で，前月の149%，例年の42%であった。前月に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎，手足口病及びヘルパンギーナで，減少した主な疾患は伝染性紅斑であった。また，例年同時期と比べて

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
ウイルス	A型肝炎ウイルス（遺伝子型ⅠA）	2
	Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	1
細菌	Salmonella Thompson (O7:k:1,5)	1
	Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	2
	Salmonella Enteritidis (O9:g,m:-)	2
	Salmonella Minnesota (O21:b:e,n,x)	1
	EHEC (O157 : H7 VT1,2)	1
	EHEC (O157 : H7 VT2)	1

表4 新型コロナウイルス感染症 年齢別報告数(例)

報告保健所	報告数	年 齢 群								
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
宮崎市	57例	1	3	11	11	15	10	5	1	
都 城	6例			2	2				1	1
延 岡	28例			3	2	7	13	3		
高 鍋	79例	4	9	3	18	25	4	14	2	
日 向	6例					6				
中 央	2例									2

報告数の多かった主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は546人(15.2)で前月の約1.8倍、例年の約1.6倍であった。延岡(49.0)、日南(28.0)、宮崎市(17.5)保健所からの報告が多く、1～5歳が全体の6割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は162人(4.5)で前月の約13.5倍、例年の約0.3倍であった。延岡(14.8)、都城(12.2)、日南(6.7)保健所からの報告が多く、1歳が全体の約半数を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向(2020年7月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は50人(3.9)で、前月比132%と増加した。また、昨年7月(2.1)の185%であった。

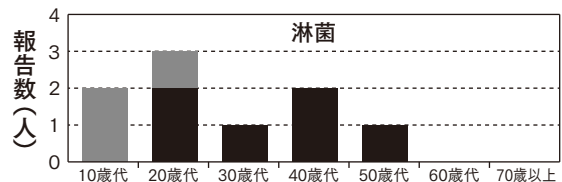
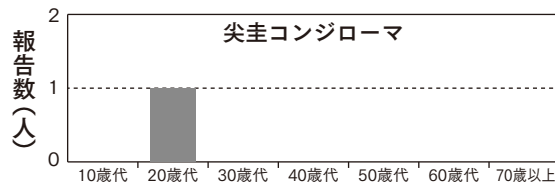
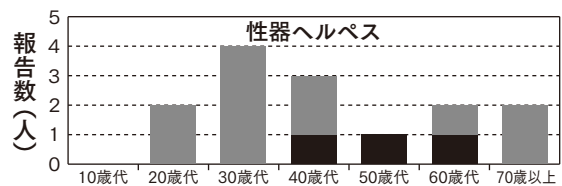
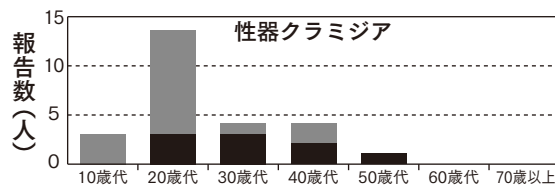
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数26人(2.0)で、前月の1.3倍、昨年7月の約1.7倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。(男性9人・女性17人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数14人(1.1)で、前月の約1.1倍、昨年7月の約2.8倍であった。(男性3人・女性11人)

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の0.5倍、昨年7月と同じであった。(女性1人)

○淋菌感染症：報告数9人(0.69)で前月の3.0倍、昨年7月の1.5倍であった。(男性6人、女性3人)



□薬剤耐性菌

■男 ■女

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は22人(3.1)で、前月比169%と増加した。また、昨年7月(2.1)の147%であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：

報告数22人(3.1)で、前月の約1.7倍、昨年7月の約1.5倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

前月との比較

	2020年7月		2020年6月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	0	0.0	1	0.0	
咽頭結膜熱	120	3.3	73	2.0	
※溶レン菌咽頭炎	546	15.2	308	8.6	★
感染性胃腸炎	712	19.8	653	18.1	
水 痘	35	1.0	28	0.8	
手足口病	38	1.1	17	0.5	
伝染性紅斑	5	0.1	7	0.2	
突発性発しん	147	4.1	144	4.0	
ヘルパンギーナ	162	4.5	12	0.3	
流行性耳下腺炎	23	0.6	13	0.4	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	19	3.2	4	0.7	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	1	0.1	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各都市医師会だより

延岡市医師会

会長 さ 佐 とう 藤 のぶ 信 ひろ 博

第20代延岡市医師会会長を仰せつかりました佐藤信博でございます。

副会長には平野雅弘先生（平野消化器科院長：前期より継続）と新たに赤須郁太郎先生（延岡共立病院院長）に就任していただきました。更に新しい理事4名を含め総勢12名の執行部で難問に立ち向かってまいります。

今後の課題

① 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

延岡市医師会では新型コロナウイルス感染症の発生に対し、今年5月18日からPCR検査用の検体採取をドライブスルー方式で開始しました。また、8月末からは検査自体も行う予定です。

しかし、延岡市では7月28日に2件の新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、感染者数は、本日（8月3日）までに29名になり、宮崎県より『感染状況が厳しい圏域（レッド・ゾーン）』に指定されました。そこで、延岡市医師会病院は昨年暮れに閉鎖した1病棟を、新型コロナ感染者を受け入れるために本日（8月3日）再開しました。

また、延岡市内では指定医療機関である県立延岡病院、協力医療機関である延岡市医師会病院と延岡共立病院が感染者を引き受け、無症状者は指定のホテルに滞在することになっています。これらの患者の振り分けを行うコーディネータ作業を九州保健福祉大学の佐藤圭創教授にお願いし、スムーズな病院間連携を図ることにしています。

② 消化管出血・脳血管障害輪番制の解消

消化管出血・脳血管障害の初期救急輪番制も10年にわたり、担当医療機関は疲弊しています。今後、延岡市、宮崎県などの行政ならびに県立延岡病院などと協議し解消を目指したいと思います。

③ 延岡看護専門学校

学生の質の低下、入学希望者の減少などの問題がある一方、高校生へのアンケート調査では、レギュラーコースへのニーズが高いことがわかりました。会員の先生方から准看護師を求める声があります。看護学校将来構想検討委員会を再度立ち上げ、解決策を議論します。

④ 災害医療対策の推進：南海トラフ地震・日向灘地震への対応

延岡市医師会病院は海岸から約1kmの位置にあり、10mの津波が予想されています。高台への移転を検討するとともに、災害対応マニュアルを見直します。

その他にも解決しなければならない問題を多く抱えています。しっかり腰を据えて一つひとつ解決していく所存ですので、皆様のご協力・ご鞭撻をお願い申し上げます。



延岡市医師会新役員

役員等名簿（任期 令和2年6月25日定時総会終結時～令和4年6月定時総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
* 会 長	佐藤 信博	整形外科，麻酔科， リハビリテーション科	あたご整形外科	統括，渉外
副会長	平野 雅弘	内科，消化器科， 胃腸科	平野消化器科	救急医療，急病センター，災害医療， 地域医療，医療行政，医事紛争，総務
* ”	赤須郁太郎	外科	延岡共立病院	医師会病院，会計，庶務， 県医師会理事
理 事	山口 哲朗	呼吸器科，内科	県立延岡病院	学術，生涯教育，勤務医部会
”	金井 一男	整形外科， リハビリテーション科	延岡リハビリテーション 病院	看護学校，産業医
”	榎本 雄介	外科，内科，在宅医療	大貫診療所	介護保険介護福祉，広報
”	大重 明広	産婦人科	大重産婦人科医院	労務対策，学校保健
”	市原 久史	整形外科	谷村病院	看護師研修講座，医療保険
* ”	竹原 俊幸	泌尿器科	おがわクリニック	腎臓検診，生活習慣病
* ”	日高 利昭	内科，呼吸器内科，外科	北浦診療所	公衆衛生・新興感染症対策，在宅医療
* ”	安藤 誠	内科，循環器内科	桜小路クリニック	心臓検診，健康教育
* ”	井上 英豪	整形外科	いのうえ整形外科 クリニック	文化厚生会員福祉， 医療情報システム・遠隔診療
監 事	岡村 公子	内科，皮膚科	岡村病院	
”	高尾 雄平	眼科	タカオ眼科	
* ”	吉田 建世	精神科	吉田病院	県医師会常任理事
議 長	木下 義美	内科	谷村病院	
副議長	川名 修徳	皮膚科	川名皮膚科	

* は新任

各郡市医師会だより

日向市東臼杵郡医師会

会長 ちよたんだ 千代反田 すすむ 晋

3月21日に開催された臨時総会、理事会を経て2期目の会長職に就任いたしました。また、副会長の二人の先生も引き続き就任していただくこととなり心強く思っているところです。

再び役員に就任される先生、初めて役員になられる先生を含む理事の半数となる6名の先生が交替する当医師会の役員体制につきましては、多くの会員の先生が医師会事業に参画していただくという点で非常に有意義で事業の広がりも感じています。

現在、非常事態といえる新型コロナウイルス感染症への対応につきましても新旧役員との協議の中で、会員医療機関の先生、スタッフの皆様の参加協力をいただくことができ、PCR検査検体採取所の開設運営に至ったことは、地域医療を全員で守る意味において大きな成果の表れと思っています。

医師会を取り巻く課題は複雑多岐にわたりますが、なかでも少子化にともなう労働人口の減少は大きな課題といえます。

特に救急医療では医師の偏在や救急医療に携わる医師の減少により、とりわけ2次救急医療は診療体制を継続していくことが危機的状況にあります。加えて、甚大な被害が想定される南海トラフ地震による大規模災害医療への備えは、あらゆる場面を想定した最新の災害医療体制を常に構築しておく必要があります。

この外、国が示した地域医療構想による2025年を見据えた地域包括ケアシステム構築への取り組み、当医師会が運営する准看護学校における学生や在宅サービス事業での人材確保、などの課題もございます。

医師会会員の減少・高齢化など喫緊の課題のあるなか当医師会が果たすべき役割は、限りある医療資源を有効活用すること、医療機関の連携を強化していくこと、保健・医療に関する事業を通して、住民の皆様が安心して暮らすことができるように取り組むことだと考えています。会員の思いをお聴きしながら役員一丸となって医師会運営に努めてまいりたいと考えています。ご協力をよろしくお願い申し上げます。



日向市東臼杵郡医師会新役員

役員等名簿（任期 令和2年6月6日定時総会終結後～令和4年6月定時総会終結時まで）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	千代反田 晋	外科，消化器外科	千代田病院	会務全般，渉外，日向市東臼杵郡医師会医師連盟委員長，看護高等専修学校運営委員会委員長，法制委員会委員長，人事給与委員会委員長，医療事故審査委員会委員長，時間外救急診療対策委員会委員，特定健診委員会委員，在宅医療協議会委員
副会長	今給黎 承	循環器内科，内科	今給黎医院	総務，日向市東臼杵郡医師会医師連盟副委員長，看護高等専修学校副校長，人事給与委員会委員，医療事故審査委員会委員，医事紛争，看護高等専修学校運営委員会委員，法制委員会委員，時間外救急診療対策委員会委員，心臓検診委員会委員，糖尿病対策
”	松岡 敬子	心療内科，内科，精神科	松岡内科医院	総務，会計，看護研修会，看護高等専修学校校長，看護高等専修学校教務委員会委員長，医療事故審査委員会委員，看護高等専修学校運営委員会委員，法制委員会委員，人事給与委員会委員
理 事	金丸 吉昌	内科，呼吸器科，循環器科	美郷町国民健康保険西郷病院	県医師会理事，勤務医委員会，在宅医療協議会委員長
*	”	鮫島 哲郎	精神科，心療内科	在宅サービス運営委員会委員長，人事給与委員会委員，小児生活習慣病検診委員会委員，在宅医療協議会委員
”	家村 文夫	内科，循環器内科	家村内科	医の倫理向上，自浄作用活性化，学校医，医療安全対策，腎臓検診委員会委員長，時間外救急診療対策委員会委員，在宅サービス運営委員会委員
”	堀之内和代	皮膚科	沼田皮膚科	会員福祉，公衆衛生・感染症，予防接種，小児生活習慣病検診委員会委員
*	”	長田 浩伸	整形外科，リウマチ科，リハビリ科	かかりつけ医委員会委員長，小児保健，産業医
*	”	森迫 和仁	胃腸科，内科	特定健診委員会委員長，時間外救急診療対策委員会委員長（在宅当番医，初期救急診療所），在宅サービス運営委員会委員
*	”	甲斐 史朗	整形外科，外科，リハビリ科	かい外科整形外科スポーツリハビリテーションクリニック
*	”	山内 正倫	泌尿器科，内科	やまうち泌尿器科内科
*	”	伊藤 康司	消化器内科，内科	和田病院
監 事	渡邊 康久	内科	協和病院	救急医療，成人保健（がん検診），看護高等専修学校主事
”	古賀 正広	内科，胃腸科，消化器科	古賀内科胃腸科	
議 長	大久保史明	外科，消化器内科，肛門外科	大久保外科胃腸科	
副議長	和田 徹也	外科，脳神経外科	和田病院	

* は新任

国公立病院だより

宮崎大学医学部附属病院



さめしま ひろし
鮫島 浩 院長

宮崎大学医学部附属病院からは約5年ぶりの「国公立病院だより」となります。今回は、平成27年11月、日州医事第795号に当時の吉原博幸病院長が寄稿されました。主な内容は、外科

大講座制の導入、田野病院の指定管理者の受諾、医療人育成センターの新設、医学教育分野別認証などで、当時の状況を彷彿とさせます。

その後の大学病院の主な動きを見ますと、平成28年には消化器病センターを設置し、平成29年には内科診療を臓器別に再編しました（現在、内科講座の再編に向けて準備中です）。引き続き平成30年には臨床腫瘍科とがんセンターを整備し、元号があらたまった令和元年には周術期口腔ケアセンターを設置しました。このように医療の進歩と地域社会の要望に応える形で大学病院も変革し続けています。

今回、特に記録に留めたいことは、令和元年の年末から現時点（令和2年6月）まで続いている新型コロナウイルス感染症（COVID-19, Coronavirus Disease – 2019）の猛威であり、大学病院もそれに対応するためにさまざまな対策を講じてきたことです。

まず、大学病院は特定機能病院としての機能を維持する必要があるため、感染症指定病院の後方支援を主に取り組みこととし、県、県医師会との調整を始めました。必要に応じて、感染症指定病院への医師派遣や看護師派遣を行ったり、感染症指定病院からの重症例（COVID-19であればECMO、PCPS症例など、またそれ以外であ

れば、がん症例や手術症例など）を引き受けたりすることにしました。そのために、入院の一部制限、良性疾患の手術延期、外来制限を行いました。入院患者さんの保護目的で、面会禁止、病院内への部外者立ち入り禁止、医学部学生や看護学生の臨床実習の禁止などを実施しました。実際、大学病院内に臨床実習を行う医学部学生、看護学生などが一人もいないという「不思議」な状況がありました。

施設面では1階東病棟を閉鎖しました。そこに岡山昭彦教授率いる感染制御部の主導でCOVID-19専用の感染症室を仮設しました。個室病棟を6床設置し、PPE着脱などの前室を整備し、その他の部屋も休憩室、シャワー室、器材庫室などに変更しました。6床とも陰圧室ではなかったため、HEPAフィルター付きのクリーンパーテーションを設置したり、空気圧を確認したりの諸作業を行いました。令和2年6月時点で、宮崎県内には感染症患者は0となり、それまでに発症した17例もECMOなどを要する重症患者ではありませんでした。非常事態宣言が解除された今（令和2年6月）、第2波に備えて追加の整備を進めています。

1階東病棟の改変と入院制限にともない看護師業務も見直しました。福満美和看護部長のもと看護人員の再編を行いました。その人員調整の中、国立病院機構宮崎東病院のCOVID-19患者対応に協力すべく、看護師（6週間にわたり8名）を派遣しました。病院職員を他病院に派遣すること自体、我々にとって初めての取り組みであり、制度も未整備の状況でした。そのような中、応援派遣を志願した看護師、事務対応などを担った事務職員がワンチームとなって達成することができたと思います。

引き続き、検査部部長でもある岡山昭彦教授

が主導し、大学病院検査部に新型コロナウイルス診断のためのPCR検査体制を構築しました。衛生環境研究所にも見学に行き、実務を確認してもらいました。その一方で、PCR検査試薬や咽頭拭い検体採取用の特殊な「綿棒」が品不足であり、そこが「ボトルネック」となりそうだと危惧されました。また、宮崎大学全体としてはCADIC（産業動物検疫リサーチセンター）の協力を仰ぎ、COVID-19のPCR検査数の急増時に備えて衛生検査所の登録を申請しました。CADICに関連して、池ノ上克学長、水光正仁理事、三澤尚明教授からの温かいご援助に感謝いたします。

国が緊急事態宣言を発出する前後から、教職員には県外移動の禁止、学会出張の禁止、大人数での回診禁止、またやむを得ず感染地域に移動した場合には2週間の自宅待機と健康チェックなど、多くの制限、自粛をお願いしました。新型コロナウイルス感染症の詳細がいまだ不明な状況であり、対策や指針も刻々と変化中、何が正解かわからないまま、すべてが手探り状態の方針決定でした。

このような中でも、良い話題もありました。

ひとつは、東京慈恵会医科大学にN95マスクを1,000個提供できたことです。東京がホットスポットとなり、一方、宮崎はまだ切迫していない段階で、慈恵会医科大学で深刻なマスク不足が起きました。高木兼寛先生のご縁で、慈恵会医科大学と宮崎大学とは包括協定を結んでおりましたので、緊急要請を受け、早急に対応しました。我々の贈ったN95マスクが医療人保護に有効に使われたことは宮崎大学にとっても嬉しい出来事でした。今後、慈恵会医科大学と宮崎大学との連携がますます発展することを願います。

また、2019年度に日機装株式会社と宮崎大学が共同で開講していた共同研究講座「医療環境イノベーション講座Collaboration Labo. M&N」からの研究発表も記憶に新しいところです。日機装社製、空間除菌消臭装置の深紫外線LEDが新型コロナウイルス（SARS-Cov-2）感染価を99.9%以上減少させることを実験で証明し、直接的にウイルスを不活化させることを報告しました。宮崎発のこの情報は日本全国に伝わり、また海外からも研究内容に関する問い合わせがありました。

「三密」を避けるという視点から、web会議が日常業務となりました。また、学内の会議数も減り、会議が開かれても短時間となったことも新型コロナ対策の副効果のひとつでしょう。医師の働き方改革とも関連して、今後の会議のあり方が方向づけられたと思います。

今回の新型コロナ禍の第1波が収束しつつある中で、大学病院で実施してきた対策を思いつくままに記載しました。新型コロナ収束後は元に戻ることはなく、次の新たな社会へと進んでいくと思われます。大学病院も地域医療に貢献しつつ、このような流れに対応して更に発展していく所存です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



宮崎大学医学部だより

感染症学講座 ー微生物学分野ー



あたらしりゅういちろう

新 竜一郎 教授

当講座は基礎系講座として、教育面は、医学部医学科3年生の「微生物学」、そして医学部看護学科2年生の看護病態学IIの中で微生物学関連を、また外部の日南看護専門学校、宮崎市郡医師

会立宮崎看護専門学校の「微生物学」を教室スタッフ（教授：新，准教授：今村守一，学部准教授：森剛志，助教：高月英恵）で分担担当しています。

本年度（2020年）はご承知のように、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の影響のため、4月、5月の医学科の講義は動画配信で行われました。WEBEXやZoomを用いたリアルタイムで行われる講義ではなく、オンデマンド形式のものです。動画配信は初めての経験であり、最初は正直戸惑いましたが、慣れてくるとその利点も把握できるようになり、個人的には医学教育にはかなり適しているのではないかと思います。実際、対面講義開始後、学生にアンケートを取ったところ、6割近くの学生が動画配信のほうが、学習効果が高いとしていました。一方、対面講義の方が向いているとした学生の理由は、周りの学習態度によりある意味強制的に自分を学習に向けることができるというものが多かったようです。動画配信の利点として挙げられるのが、視聴時間が自由なこと、繰り返し視聴できること、視聴速度を速められることなどがあり、一方短所としては自分を律する必要があることや教官や同級生との交流ができないことなどでしょうか。今後新型コロナウイルス感染の状況が落ち着いた後も、今回の経

験を活かし、動画配信と対面講義との適切な配分や方式についても検討すべきではないかと考えています。

研究面としてはまず、2019年度科研費 国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B））「ネパールにおけるロタウイルス種間伝播機序とウイルス循環における成人の役割の解明」が採択され、共同研究活動を行うため、2020年1月末に共同研究先のネパールの熱帯感染症病院を訪問しました。元々この研究は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座の中込教授（現名誉教授）が退官にあたり、ロタウイルスの分子疫学研究の継承についての打診を受諾したことに始まります。ただし当時、我々はロタウイルスについては素人同然で、そのため、ロタウイルスの取り扱いについて高月助教が1年間修業という形で中込教授の指導を受け、学んできました。その際の研究成果として論文名「Whole genome characterisation of G11P [25] and G9P [19] rotavirus A strains from adult patients with diarrhoea in Nepal」がInfection, Genetics and Evolution誌に2019年2月に公表されました。その後は残念ながら、今年度は新型コロナウイルスの影響のため、ネパールへの渡航ができなくなり、研究の進展が難しい状況です。来年度以降状況が改善することを願っています。

もう一つの当研究室の主要研究課題である、神経変性疾患（プリオン病、アルツハイマー病、レビー小体病、タウオパチーなど）の病原タンパク質の異常凝集メカニズム、神経変性機構、診断・予防・治療法の開発についても詳細については述べませんが、最近大きな進展があり、1～2年以内にはいくつかを論文や特許という形でまとめたいと思い、スタッフ一同、刻苦精進しているところです。上記疾患（ロタウイルス感染症や神経変性疾患）の研究に興味がある方がおられたら当講座への修士課程や博士課程への進学をぜひ考えていただければ、あるいはそのような方を紹介いただければ幸甚です。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(整形外科医会)

まつもと こういち
松本 宏一 会長

平成30年より宮崎県整形外科医会会長に就任しています松本宏一です。何分若輩でございます。宮崎県医師会員の皆様どうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

令和2年度でございますが、副会長には川越正一先生、

理事に金井一男先生（延岡）、大平卓先生（日向）、飯田博幸先生（都城）、平川俊一先生（宮崎）、後藤啓輔先生（宮崎）、坂本武郎先生（宮崎大学）が選出され、監事には宮元修一先生、久保紳一郎先生が選出されました。

評議員には、三股恒夫先生（日向）、栗原典近先生（延岡）、黒木隆男先生（宮崎）、黒木龍二先生（宮崎）、作良彦先生（宮崎）、渡部正一先生（宮崎）、松田虎洋先生（日南）、池之上貴先生（都城）、竹之内剛先生（小林）、帖佐悦男先生（宮崎大学）、濱中秀昭先生（宮崎大学）、渡邊信二先生（宮崎大学）が選出されています。

宮崎県整形外科医会の会員数は現在A会員79名、B会員123名の合計202名であります。

宮崎県整形外科医会で毎年行われる主な活動としましては次のものがあります。

1) 全国整形外科保険審査委員会議

例年9月の第2日曜日に品川の東京コンファレンスセンターで開催されます。昨年は令和元年9月8日(日)に行われました。宮崎県整形外科医会からは5名の審査委員に出席していただきました。1995年（平成7年）に第1回全審会が立ち上げられ、昨年は第25回目の開催でした。

2) 宮崎県整形外科医会研修会

昨年は令和元年11月2日(土)に開催されました。本研修会は、9月の全国整形外科保険審査委員会議の結果をふまえて、宮崎県に

おける保険審査基準を説明する会であります。社保審査委員からは渡邊信二先生、国保審査委員からは税所幸一郎先生が講師として出席されました。また、同時に特別講演として、宮崎大学整形外科教授 帖佐悦男先生に「運動器疾患診療における医療安全、ピットフォールに陥らないために」をお話していただきました。ドキッとして思わず背すじが伸びるすばらしい講演でした。

3) 市民公開講座

令和元年10月6日(日)に開催されました。本講座は宮崎大学整形外科教室が中心となり毎年10月に開催されます。聴衆は一般市民です。整形外科の講師は4名で1名30分ずつお話をされます。県整形外科医会からは黒木浩史先生（宮崎東病院）に講師をお願いして、「背骨は体の大黒柱－腰曲がり（脊柱変形）の話－」についてお話をしていただきました。

4) 健やかな心と体を育む健康教育推進事業

この事業への講師派遣は宮崎県教育庁スポーツ振興課からの依頼で、宮崎県の小学校、中学校、高等学校に整形外科講師を派遣しています。昨年は1校からの依頼があり（県の予算が少ないとのことで、依頼数が減少しています）、岡村武志先生（岡村クリニック、串間市）に出張していただきました。

5) 宮崎日日新聞生活情報誌「きゅんと」の執筆協力

整形外科が担当する枠が1年に2回あります。昨年令和元年は小島岳史先生（野崎東病院）に2回執筆していただきました。

今年は新型コロナウイルスの影響で種々の会合や講演会が中止となり、会員の先生方に直接お目にかかることが少なくなり、残念に思います。県医師会会員の先生方のご健勝をお祈り申し上げます。

第120回九州医師会医学会実行委員会

と き 令和2年8月4日(火)

ところ 県 医 師 会 館

小牧常任理事の司会により開会、河野会長の挨拶に続き、報告・協議が行われた。

1 挨拶（河野県医師会長）

昨年から、皆様のご協力を得て準備委員会を中心に協議を重ね、11の分科会と6つの記念行事を企画し準備をしてきた。分科会と記念行事を合わせて、17の企画は、近年では稀にみる最大規模で、九州各県の多くの先生方に宮崎にお越しいただく予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大と第2波、第3波の懸念から、計画の見直しも止むを得ず、方向転換もいたしかたないと考えている。本日は、皆様のご意見を伺いたく本実行委員会を開催することとなった。皆様からの忌憚のないご意見をお聞きして、今後の計画にいかしていきたい。

2 報告

1) 進捗状況について

小牧常任理事から、昨年7月と11月に準備委員会を開催し皆様のご協力のもと準備を進め、先月中旬、約28,000冊の案内誌を九州各県の115郡市医師会を通じて医師会員に送付した。また、九州各県医師会長で構成する九州医師会連合会常任委員会で、今年6月と7月初旬、九医学の通常開催に向け準備を進めていくことについて了解を得ているとの報告があった。

3 協議

1) 前日諸会議及び総会・医学会について

小牧常任理事から、11月27日(金)の諸会議および28日(土)の総会・医学会の開催については、現在の新型コロナウイルス感染症の陽性者の拡大とインフルエンザが増え始める11月下旬の開催時期を踏まえると、県境をまたぐ移動や、会議や講演会の開催はリスクが高く、通常の開催は難しいと説明があった。

医師会員が関係する28日(土)の総会・医学会は、来賓と講師および関係者のみご来場いただき、九州各県医師会員には動画配信をする方法で準備を進めていくことが決定した。

2) 分科会・記念行事について

各分科会会長および記念行事代表世話人に現時点での方針を確認したところ、分科会は、中止もやむなしの意見や上部団体の指示で決定するところもあるなど意見がわかれた。一方、記念行事についてはすべて中止の方針であった。最終判断は8月20日(木)までにさせていただくこととなった。

3) 今後のスケジュールについて

小牧常任理事から、8月29日(土)に開催の九州医師会連合会常任委員会に変更案を提出し、九州各県の承認を得たのち、九州各県医師会員へ再案内を行うと説明があった。なお、各分科会および記念行事の中

止、規模縮小などの企画変更の最終判断については、8月20日(木)までに担当職員を通して連絡することとなった。

4) その他

シーガイア担当者から、ホテルやコンベンションセンターの感染症対策などの説明があった。

出席者(※重複記載あり)

各分科会ー下田(内科学会)・高村(小児科学会)・白尾(外科学会)・松本(整形外科学会)・
鮫島(産科婦人科学会)・川越(東洋医学会)・山口(日本東洋医学会九州支部)・

瀬ノ口(産業医学会)・成田(皮膚科学会)・蓑田(泌尿器科学会)会長、中山(透析学会)先生
各記念行事ー吉田(ゴルフ)・宮永(テニス)・比嘉(サッカー)・市来(囲碁)・山元(卓球)・
天野(バドミントン)代表世話人

県医師会ー河野会長、濱田・山村副会長、吉田・小牧・荒木・池井・金丸・石川・瀬ノ口・
高木常任理事・事務局職員

フェニックス・シーガイア・リゾートー川田課長、平富氏

AVC放送開発ー前田氏、長友氏



お知らせ

クールビズの実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向け、令和2年5月1日から同年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖など)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

九州医師会連合会第385回常任委員会

と き 令和2年8月8日(土)

ところ 九州各県医師会 (TV会議)

1 開 会

2 挨 拶

1) 九州医師会連合会長

(河野雅行宮崎県医師会長)

3 報 告

1) 九州医師会連合会事務引継ぎについて

(宮崎)

2) 新型コロナウイルス感染症対応下での医療経営状況と更なる財政支援に関する要望書について (宮崎)

4 協 議

1) 九州医師会連合会第386回常任委員会並びに第119回定例委員総会等 (8月29日(土))の開催方法について (宮崎)

新型コロナウイルス感染症が各県においても拡大傾向にあるため、第386回常任委員会もテレビ会議とすること、開始時刻を16時からではなく14時からに変更することが了承された。

また、第119回定例委員総会は、書面開催とすること、総会に提案する議案については、次回8月29日(土)の常任委員会で承認されたものを書面議案として、委員各位に送付し承認の可否を問うことが承認された。

更に、書面決議は九医連会則に定める特別の理由がある場合として、9月とすること、決議は委員定数の過半数以上で承認とすることが了承された。

2) 九州医師会連合会第387回常任委員会並びに第1回各種協議会 (10月10日(土))の開催方法について (宮崎)



10月10日(土)の常任委員会並びに各種協議会もテレビ会議とすること、また各種協議会は、常任委員会終了後に3つの協議会を順次開催することが承認された。

講師を依頼する日本医師会との調整のうえ、次回8月29日(土)の常任委員会で開始時刻などの詳細は報告することが了承された。

3) 九州医師会連合会第388回常任委員会並びに第120回臨時委員総会 (11月27日(金)宮崎市)の開催について (宮崎)

4) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会 (11月28日(土)宮崎市)の開催について (宮崎)

11月27日(金)の常任委員会、臨時委員総会および11月28日(土)の合同協議会はテレビ会議と会場参加の併用案など3密を避ける工夫をし開催する方向で検討しており、医学会や関連行事についても、宮崎の関係の先生方で協議いただいていることを報告したうえで、次回8月29日(土)の常任委員会で具体的な開催案を提案することが承認された。

5) 日本医師会会内委員会委員の推薦について (宮崎)

原案どおり了承され、日本医師会に提案することが決定された。

6) 令和2年7月豪雨災害への対応について (宮崎)

今回の被害は特に甚大であったことから九医連申合せに従い、被災地である熊本、福岡、鹿児島を除く5県から各10万円、九医連から50万円の計100万円と中四国医師会連合会から頂いた見舞金300万円の合計400万円を熊本県に250万円、福岡県へ100万円、鹿児島県へ50万円送ることが決

定された。

7) 新型コロナウイルス感染症等に対する日本版CDC（疾病予防管理センター）の創設について（鹿児島）

提案県である鹿児島県医師会で要望書案を作成し、九医連会長県である宮崎県医師会で各県医師会の了解を得たうえで、日本医師会に九医連から要望することが決定された。

出席者－河野会長、山内事務局長、竹崎次長

8月のベストセラー（宮崎県）

集計：2020年8月1日～8月26日

1 夢をかなえるゾウ	水 野 敬 也	文 響 社
2 棲 月	今 野 敏	新 潮 社
3 織細さんの本	武 田 友 紀	飛 鳥 新 社
4 少年と犬	馳 星 周	文 藝 春 秋
5 糸	林 民 夫	幻 冬 舎
6 気がつけば、終着駅	佐 藤 愛 子	中央公論新社
7 人は、なぜ他人を許せないのか？	中 野 信 子	ア ス コ ム
8 一人称単数	村 上 春 樹	文 藝 春 秋
9 嫌われる勇気	岸 見 一 郎	ダイヤモンド社
10 還暦からの底力	出 口 治 明	講 談 社

九州医連連絡会第30回常任執行委員会

と き 令和2年8月8日(土)
ところ 九州各県医師会 (TV会議)

- 1 開 会
2 挨拶
1) 九州医連連絡会委員長
(河野雅行宮崎医師連盟委員長)

たことを受け、定例委員総会終了後に開催
予定であった第21回執行委員会は中止と
することが了承された。

あわせて報告事項であった九州医連連絡
会議役員名簿は、別途送付することも了承
された。

- 3 協 議
1) 九州医連連絡会第21回執行委員会の開催
について (宮崎)
8月29日(土)の常任委員会がテレビ会議
に変更になったこと、常任委員会終了後に
開催予定の定例委員総会が書面開催となっ

2) その他

出席者－河野委員長、山内事務局長、
竹崎次長

お知らせ

令和2年度日本医師会認定医療秘書養成制度
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。
日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能
などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を
大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用
いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡
くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者17名 (男2名、女15名)	就職希望者8名 (女8名)	就職希望者6名 (女6名)
連絡先：TEL0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙1415 担当：田村 広美 武村 順子	連絡先：TEL0985-86-2271 宮崎市田野町甲1556-1 担当：福元 進 馬原裕加里	連絡先：TEL0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当：吉原真由美 谷山真菜己

医師資格証を持ちましょう

「医師資格証」はHPKI（保健医療福祉分野公開鍵基盤）の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです

医師資格証は
5年ごとの
更新になりました

申請方法と
受け取り方法が
変更になりました

年間利用料が
廃止されました

2年ごとの
オンライン更新が
不要になりました

診療情報提供書等への HPKI電子署名に対応しています

医師資格証 ご利用シーン



地域医療連携内での
診療情報提供書への
HPKI電子署名

（平成28年診療報酬改定におい
て加算を算定することが可能）

電子処方せん発行時の
HPKI電子署名に使用



日医生涯教育制度、認定
医、かかりつけ医など各
種研修時の受講履歴、
取得単位管理に使用

地域医療連携システムへ
のログイン認証

ログイン



医師資格証ポータル
サイトの利用



治験データへの
HPKI電子署名



文書交換サービス
の利用



身分証としての活用
JAL DOCTOR登録制度
などへの任意登録に使用
する
※医師資格証を身分証として活用で
きるように各企業、行政機関に働き
かけを行なっています



日本医師会 電子認証センター
Japan Medical Association Certificate Authority

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス17階

詳しくは日本医師会電子認証センターホームページをご覧ください。 <http://www.jmaca.med.or.jp/>



日医インターネットニュースから

■ポビドンヨードうがいの効果に、懸念 — 日 医 —

大阪府の吉村洋文知事が、ポビドンヨードを含むうがい薬の使用によって新型コロナウイルス感染症の重症化予防が期待できるなどと発表したことを受け、日本医師会は8月5日の会見で見解を発表した。神村裕子常任理事は「国民生活に混乱が生じることにについて大いに懸念している。国民、報道の皆さまに冷静な対応を呼び掛けたい」と述べた。

神村常任理事は、真偽不明の情報が流布する「インフォデミック」などに触れた会内の健康食品安全対策委員会の報告書をあらためて説明した。今回のうがい薬についても品切れが相次いでいることなどから、その事例の一つと指摘。情報を精査し、冷静に対応するよう求めた。ポビドンヨードの転売は医薬品医療機器等法違反になることも注意喚起した。

中川俊男会長も「現時点では、エビデンスが不足していると考えている」と述べ、同委員会やCOVID-19医学有識者会議で検証していく考えを示した。
(令和2年8月7日)

■同時流行見据え、検査や治療を提言 — 感染症学会 —

日本感染症学会は8月3日、新型コロナウイルス感染症が今冬にインフルエンザと同時流行して重大な事態となる危惧があることを見据え、一般外来で両疾患の診療に対応するための提言を公表した。同感染症の確定患者と明らかな接触があった場合や、特徴的な症状がない場合は両疾患の区別は困難とし、確定診断のため、速やかに両疾患に対応した検査を行うことを推奨。治療については、現状は一般外来で同感染症を治療することは想定していないため、今冬の熱発患者の治療はインフルエンザを想定した対応になるとした。

同感染症のインフルエンザと異なる特徴的な症状として、発熱に加えて味覚や嗅覚障害があることを挙げた。潜伏期間もインフルエンザが1～2日であるのに対し、最大14日間（平均5.6日）であり、ウイルス排出のピークは発病1日前とした。

実臨床の参考として、同感染症とインフルエンザの鑑別が必要な患者を想定した検査のプロ

ーチャート（流れ図）を提示。選別が困難な事例として、検査が両疾患ともに陰性だった場合は対症療法を行った上で経過観察するとし、両疾患ともに陽性の場合は入院・隔離の上で再検査することとした。

治療では、インフルエンザは早期診断に基づき、早期治療を行うことを推奨した。インフルエンザに関する同学会の提言内容を大きく変更する必要はないものの、成人のハイリスク患者を含めてパロキサビルの見知が増えつつあるとし、薬剤感受性の動向に留意して適切な診断と治療を行うことを求めた。

小児については、多くの発熱性疾患があることなどを踏まえて、別に分けて解説した。神経系、遺伝性、先天性心疾患を持つ小児は、重症化しやすいため経過を慎重に観察することが必要とし、海外では10歳前後で川崎病に似た症候群が感染から中央値で25日後に発症して生命を脅かす症例があると紹介。発熱症状からインフルエンザと診断すると、その他の重症疾患を見逃す可能性があるため、迅速診断キットを用いた確定診断が重要と説明した。

(令和2年8月7日)

■「みんなで安心マーク」の発行を開始 — 日医、コロナによる受診控え対策 —

日本医師会は8月7日、新型コロナウイルス感染症への対策を実施している医療機関が掲示できる「みんなで安心マーク」の発行を開始した。患者が感染リスクを恐れて、受診を控える現状があるため、マークの掲示で安心して受診してもらえるようにする。まずは会員を対象に開始し、非会員にもできる限り速やかに拡大する。

医療機関は日医のホームページで利用規約を確認し、基本情報を登録した上で「院内における新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト」を順守しているか自己点検する。順守していれば、マークをダウンロードして院内に掲示できる。チェックリストは職員の健康管理の適切な実施や、患者が一定の距離を保てるような措置の実施など9項目。発行した医療機関のリストも公開する予定だ。

http://www.med.or.jp/doctor/kansen/novel_corona/009500.htmlから登録することができる。

(令和2年8月18日)

■GL順守で「コロナ対策強化」広告可 — 厚生労働省 —

厚生労働省医政局総務課は8月6日付で、医療機関の管理者が業種別ガイドライン（GL）を順守するための措置を講じており、GLを作成した団体などにより順守状況が認証されるなどの条件を満たしている場合は、その医療機関が新型コロナウイルス感染症防止対策を強化していることを広告してもよいことを都道府県などに事務連絡した。同感染症の流行を踏まえた特例的対応としている。

事務連絡では、要件を満たす医療機関の認証の枠組みとして、日本医師会と日本歯科医師会が業種別GLとチェック項目を作成し、医療機関・歯科医療機関を認証する事業を行っていることを紹介。各団体の認証を取得した医療機関等は、同感染症の防止対策を強化している旨を広告可能なことを留意事項に挙げた。

一方、認証マークを活用することは差し支えないが、虚偽・誇大広告は医療法違反になることも記載した。虚偽・誇大広告の具体例として、▽自己点検で全てのチェック項目等を順守できていないことを認識しながら認証マーク等を掲示する▽認証の有無にかかわらず「医療の安全を保障します」や「万全の安全管理体制」等と掲示する▽認証マークに添えて「当院は感染対策が万全であり絶対に感染しません」など事実を不当に誇張して表現し患者を誤認させるような表示を行う—ことを挙げた。

（令和2年8月18日）

■横倉義武前会長に名誉会長の称号授与 — 日 医 —

中川俊男会長は8月19日の会見で、横倉義武前会長に名誉会長の称号を授与することを機関決定したと発表した。18日に開いた理事会で了解された。

中川会長は「折に触れてご相談し、いろいろなことをご指導いただきたい」と述べた。

中川会長は6月27日の代議員会で、横倉前会長を名誉会長としてはどうかと提案していた。中川会長は「理事会の決定を本人にお伝えしたところ、快くお受けいただくことになった」と述べた。名誉会長は定款に定めはないが、終身の称号となる。
（令和2年8月21日）

■コロナ患者入院病院、月1億円超の赤字 — 医師会病院、3～6月分経営調査 —

日本医師会は8月19日の会見で、新型コロナウイルス感染症による医療機関の経営状況について全国の医師会病院を対象に調査した結果を発表。今回は3～6月診療分。同感染症の入院患者を受け入れている病院の1カ月当たりの赤字（月平均医業損失）は1億980万円。受け入れていない病院でも2,010万円の赤字だった。松本吉郎常任理事が説明した。

日医は全国の医師会病院（72病院）を対象に2回に分けてアンケート調査を実施。1回目（回答率80.6%）は3～5月診療分を、2回目（同77.8%）は4～6月診療分を調査し、毎月分の回答があった病院を対象に2回の調査を統合して分析した。

回答病院全体の3～6月の医業収入は前年同月比でマイナス8.3%、医業利益率はマイナス15.5%（前年同月マイナス6.4%）だった。3～6月の初診料の算定回数は前年同月比32.1%減、再診料（外来診療料）は21.7%減。受診控えの状況から回復の兆しが見えているとは言い難いとしている。

再診料（外来診療料）の算定回数に占める電話等再診は約1%にすぎなかったが、一度でも電話等再診を行った病院は約8割に達していた。

（令和2年8月21日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

医師協同組合提携のメディカルカードについて

医師協同組合では、昭和61年より宮崎信販と提携して医療従事者(医師・看護師・事務職員等)の方を対象に地元百貨店(宮崎山形屋)などで割引があるクレジットカードを発行しています。是非お申込みをご検討ください。

盗難保険・海外旅行傷害保険自動付帯
年会費永年無料
ETCカード同時発行可能



大切な
お知らせ

インターネットショッピングをご利用の
「メディカルカード」会員様へ

偽のメール・偽の広告にご注意！

大手通販サイトや宅配業者を装ってEメールやショートメールを送信し、カード番号やID、パスワード、暗証番号等を不正に搾取しようとする悪質なメールにご注意ください。

「携帯電話が100円」などポップアップ広告等にも十分にご注意ください。

怪しいメールが
届いたら

- 心あたりのないメールは
むやみに開かない!
- メール内のURLは
クリックしない!
- フィッシング対策協議会
へご相談を!



被害にあったら

- クレジットカード番号を入力
してしまったら、カード
会社にすぐ連絡を!



情報を共有しよう

- 受信したメール情報を
周囲に共有し、注意を
呼びかけましょう!

※詳しくは当社ホームページ、またはJCCA「日本クレジットカード協会」ホームページ
(<http://www.jcca-office.gr.jp/>)にてご確認ください。

インターネットショッピングにMCカードをご利用の皆様へ



本人認証サービス (3Dセキュア)の大切なご案内

》 本人認証サービスとは…

本人認証サービスとは、本人認証サービス加盟店でのインターネット取引(オンラインショッピング)でクレジットカードをご利用になる際に、ご本人しかわからない「MC WEBサービス」のユーザーIDとパスワードを入力しないと支払い手続きが完了しないサービスで、第三者の不正利用を未然に防ぐことができます。

詳しくは、宮崎信販ホームページをご覧ください。

※右記QRコードより宮崎信販ホームページをご覧いただけます。



JCB
J/Secure

Verified by
VISA
VISA JCB

》 本人認証サービス登録方法

「MC WEBサービス」に登録は
お済みですか？

NO

① MC WEBサービス新規登録

「MC WEBサービス」新規登録の際「本人認証サービス」へ
同時登録されます。
※ご利用規約をご確認のうえ、必要事項を入力してご登録ください。

YES

① 「MC WEBサービス」にログイン



② 左メニューの「本人認証サービス登録をクリック



③ 規約に同意のうえ、必要事項を入力し、 ボタンをクリックして登録完了



株式会社 宮崎信販

宮崎県宮崎市高千穂通1-3-30
https://www.miyazaki-shinpan.co.jp

MCコールセンター

TEL. 0985-28-2511 (受付: 平日9:00~17:00)

医師国保組合だより

令和2年度 宮崎県医師国民健康保険組合第123回通常組合会

と き 令和2年7月20日(月)

ところ 県 医 師 会 館

仮議長の内田攻先生からの開会宣言後、議長に原田雄一先生（宮崎市郡医師会支部）、副議長に野邊俊文先生（都城市北諸県郡医師会支部）を選出し、9名の物故組合員の先生方に対し弔意黙祷を捧げ、秦理事長の挨拶後、議事に入った。専決報告事項「規約の一部改正」の内容について報告後、令和元年度事業報告、歳入歳出決算、歳入歳出差し引き剰余金の処分についての審議を行い、原案どおり可決承認された。また、任期満了にともなう役員改選について、理事10名および監事2名が定数内で選任された。

1 理事長挨拶

熊本県を中心に九州地方で発生した記録的集中豪雨では、多くの人命が失われてしまい、建物や家屋にも甚大な被害が発生してしまった。このたび犠牲になられた方々へのご冥福をお祈り申し上げ、被害に遭われた方々の一日も早い復興を願い、再建支援を行いたい。本日は、令和元年度の事業報告および歳入歳出決算、また役員改選年度にもあたるため慎重な審議をお願いする。所得水準の高い国保組合の国庫補助の見直しにより、定率国庫補助率が毎年3.8%削減されて、元々の32%の補助率から16.8%になり、令和2年度には最終の13%まで引き下げられてしまう。当初はこの措置による補助金削減の影響で、存続が危ぶまれる医師国保組合が全国の中から出てくるのではと懸念されていた。現時点では当組合も含め、毎年保険料の値上げを実施しながら財政状況の悪化を凌いでいる。将来的にはいつまでも保険料値上げを実施すること

がないよう状況を見極めながら最善な方策を検討したい。医師会員の4割は組合員であり、開業医に至っては8割が組合に加入している。また組合加入の7割強の先生方からは、各県単独の現在形で組合を存続する方が望ましいとの意見をいただいている。組合としての実績を積み重ねて、組合員からの信頼を得ながら、いずれ医師国保組合が感謝される存在になるように努めていく所存である。地域医療の底辺は医師国保組合が支えているとの気概を持ち、これからも取り組んでいくので、ご支援ご協力をお願い申し上げる。

2 議事の状況

1) 専決報告事項「規約の一部改正」について

国から新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者に対する傷病手当金の支給を行い、休みやすい環境を整えて感染の拡大を防止するため、国民健康保険法第25条第2項の規定に基づき、県の国民健康保険課の指揮も受けたうえで、理事の専決処分を行ったことを同条第3項の規定により組合会に報告した。当該支給に要した費用の全額は、国が緊急的・特例的措置として当組合への財政支援を行う。被保険者からの支給申請方法などは、当組合ウェブページに掲載して通知する。あわせて、従来から規約で定めている傷病手当金は、支給期間を6か月から180日間に変更し、免責期間を10日間から7日間に変更した。

2) 令和元年度事業報告について

被保険者数に関する月平均の前年度比は、

組合員587名で3名減、家族925名で38名減となっている。なお、平成20年度からの被保険者数の推移は、組合員は600名前後で推移して変動はないが、家族は毎年30～50名程度ずつ減少している。被保険者の減少対策として、新規入会医師会員に対する当組合への加入を各郡市医師会と連携し促していく。また、関係機関の協力を得ながら新規開業を予定されている先生方にも組合に関する事業説明を行う。

保険給付は、療養諸費の保険者負担分が2億2,824万余円で前年度より2,150万余円減となっている。新型コロナウイルス感染症の影響による医療機関への受診抑制が減少した要因の一つと考える。保健事業の健康診断で特定健診受診率は約38%で前年度を上回った。日曜集団健診への受診促進と新設の乳がん検診を健康診断とセットにしたことによる受診率アップの効果が表れた結果と思われる。しかしながら、当組合のデータヘルス計画に基づく当該年度の特定健診受診率は45%、特定保健指導実施率は10%に目標値を設定しているため、更なる受診率向上を図ることを説明し、可決承認された。

3) 令和元年度歳入歳出決算について

歳入は5億6,937万余円で、歳入に占める主な割合は、保険料65.7%、補助金12.2%、繰越金9.6%、繰入金7.7%となっている。保険料は、3億7,392万余円で前年度比1,851万余円増、療養給付費等補助金は6,099万余円で前年度比2,297万余円減となっている。

一方、歳出は5億384万余円で、歳出に占める主な割合は、保険給付費49.9%、後期高齢者支援金18.5%、介護納付金9.7%、前期高齢者納付金0.4%で歳出の約78%を占めている。その他、総務費・組合会費10.5%、保健事業費4.5%となっている。

保険給付費は、療養給付費が2億2,865万余円で前年度比1,315万余円減、高額療養費は1,577万余円で前年度比1,122万余円減となっている。また、後期高齢者支援金は9,335万余円で前年度比411万余円増、介護納付金は4,896万余円で前年度比263万余円増となっている。

歳入歳出差引残額は6,552万余円となり、単年度収支では、3,291万余円の赤字決算となった。単年度赤字の要因は、当初見込み額の保険給付費よりも実際の支出額はかなり減少したものの、被保険者数の減少と保険料減額申請数の増加および定率国庫補助率の3.8%削減、特定被保険者分に係る補助金の更なる削減による収入減、また国への高齢者医療制度への拠出金負担額増に対する保険料などに不足が生じたためと説明し、可決承認された。

4) 令和元年度歳入歳出差し引き剰余金の処分について

国民健康保険法施行令で定められている、「特別積立金」並びに「給付費支払準備積立金」は、保有額が法定額を超えているため今期の積立は必要なく、歳入歳出差引額を令和2年度会計へ繰り越しとすることが可決承認された。

5) 役員改選

現役員の任期満了にともない、組合会において組合員中より新役員を選任した結果、理事10名、監事2名が定数内にて決定し承認された。また、当組合会議員および支部長、顧問、事務職員も承認された。

【理事】 秦 喜八郎(宮崎)、大坪 睦郎(宮崎)、
濱田 政雄(宮崎)、石川 智信(宮崎)、
高木 純一(宮崎)、川野啓一郎(宮崎)、
佐々木 究(宮崎)、玉置 昇(宮崎)、
上山 貴子(宮崎)、北村 洋(児湯)
【監事】 棚田 敏文(宮崎)、山路 健(都城)

出席組合会議員（議員定数30名 出席議員21名）			出席理事 7名	
1番	市 来 能 成	12番	原 田 雄 一	理 事 長 秦 喜八郎
2番	内 田 攻	13番	弘 野 修 一	副理事長 大 坪 睦 郎
3番	内 野 竜 二	14番	福 永 隆 幸	副理事長 濱 田 政 雄
4番	岡 留 敏 秀	15番	野 邊 俊 文	常務理事 佐々木 究
5番	木佐貫 博 人	16番	大 岐 照 彦	理 事 高 村 一 志
6番	國 枝 良 行	23番	坂 田 師 隣	理 事 石 川 智 信
7番	神 尊 敏 彦	26番	福 岡 周 司	理 事 川 野 啓一郎
8番	佐 藤 潤一郎	27番	杉 原 純 次	
9番	田 中 宏 幸	28番	石 澤 宗 純	出席監事 2名
10番	谷 口 二 郎	30番	上 野 尚 美	監 事 棚 田 敏 文
11番	玉 置 昇			監 事 山 路 健

宮崎県医師国民健康保険組合役員について

当組合同規約第15条並びに第19条に基づき、理事会において「理事長、副理事長、常務理事及び法令遵守担当理事」について互選した結果、下記のとおり決定しましたので通知いたします。

任期：令和2年7月20日～令和4年7月の通常組合会終結時まで

理 事 長	秦 喜八郎
副理事長	大 坪 睦 郎
	濱 田 政 雄
常務理事 (法令遵守担当理事)	佐々木 究
常務理事	川 野 啓一郎
理 事	石 川 智 信
	高 木 純 一
	玉 置 昇
	上 山 貴 子
	北 村 洋
監 事	棚 田 敏 文
	山 路 健

令和元年度 宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出決算書

歳 入 合 計	569,370,740円
歳 出 合 計	503,841,801円
歳入歳出差引残額	65,528,939円
(平成30年度繰越金)	54,441,443円)
(積立金繰入金)	44,000,000円)
(令和元年度単年度収支)	△ 32,912,504円)

(歳 入)

(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 国民健康保険料	1 国民健康保険料	376,644,000	373,926,900	373,926,900	0	0	△ 2,717,100
2 一部負担金	1 一部負担金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
3 国庫支出金		72,330,000	69,294,337	69,294,337	0	0	△ 3,035,663
	1 国庫負担金	1,601,000	1,927,188	1,927,188	0	0	326,188
	2 国庫補助金	70,729,000	67,367,149	67,367,149	0	0	△ 3,361,851
4 前期高齢者交付金	1 前期高齢者交付金	2,000	0	0	0	0	△ 2,000
5 県支出金	1 県補助金	2,000	0	0	0	0	△ 2,000
6 共同事業交付金	1 共同事業交付金	15,800,000	20,653,000	20,653,000	0	0	4,853,000
7 財産収入	1 財産運用収入	250,000	248,415	248,415	0	0	△ 1,585
8 繰入金	1 繰入金	44,004,000	44,000,000	44,000,000	0	0	△ 4,000
9 繰越金	1 繰越金	40,894,000	54,441,443	54,441,443	0	0	13,547,443
10 諸収入		66,000	6,806,645	6,806,645	0	0	6,740,645
	1 加算金・延滞金及び過怠金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
	2 預金利子	20,000	4,002	4,002	0	0	△ 15,998
	3 雑収入	45,000	6,802,643	6,802,643	0	0	6,757,643
歳入合計		549,993,000	569,370,740	569,370,740	0	0	19,377,740

(歳 出)

(単位：円)

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と収入済額との比較
1 組合会費	1 組合会費	5,625,000	3,990,431	0	1,634,569	1,634,569
2 総務費	1 総務管理費	52,561,619	48,983,703	0	3,577,916	3,577,916
3 保険給付費		287,562,000	251,665,411	0	35,896,589	35,896,589
	1 療養諸費	255,093,000	230,445,343	0	24,647,657	24,647,657
	2 高額療養費	25,001,000	15,773,068	0	9,227,932	9,227,932
	3 移送費	1,000	0	0	1,000	1,000
	4 出産育児諸費	1,680,000	840,000	0	840,000	840,000
	5 葬祭諸費	1,580,000	400,000	0	1,180,000	1,180,000
	6 傷病諸費	4,207,000	4,207,000	0	0	0
4 後期高齢者支援金等	1 後期高齢者支援金等	94,007,000	93,355,156	0	651,844	651,844
5 前期高齢者納付金等	1 前期高齢者納付金等	2,306,000	2,216,409	0	89,591	89,591
6 介護納付金	1 介護納付金	49,300,000	48,963,686	0	336,314	336,314
7 共同事業拠出金等		21,295,000	20,515,214	0	779,786	779,786
	1 共同事業拠出金	15,912,000	15,488,000	0	424,000	424,000
	2 共同事業負担金	5,383,000	5,027,214	0	355,786	355,786
8 保健事業費		24,310,000	22,650,834	0	1,659,166	1,659,166
	1 特定健康診査等事業費	3,120,000	2,981,369	0	138,631	138,631
	2 保健事業費	21,190,000	19,669,465	0	1,520,535	1,520,535
9 積立金	1 積立金	5,000	0	0	5,000	5,000
10 組合債費	1 組合債費	1,000	0	0	1,000	1,000
11 諸支出金	1 償還金及び還付加算金	11,501,957	11,500,957	0	1,000	1,000
12 予備費	1 予備費	1,518,424	0	0	1,518,424	1,518,424
歳出合計		549,993,000	503,841,801	0	46,151,199	46,151,199

被保険者証の更新について

下記のとおり、当組合の被保険者証を一斉に更新いたします。

- 1 新しい被保険者証は、令和2年10月1日から2年間使用できます。
 - 2 新被保険者証（橙色）は、今月下旬頃に組合員宛に簡易書留にてお届けします。
 - 3 お手元にお持ちの有効期限が令和2年9月30日までの被保険者証（緑色）は、新被保険者証が届きましたら、ご家族全員分をまとめて、当組合まで返還してください。
 - 4 「組合員及び被保険者資格の確認調査」の結果、資格確認できない場合（調査書・必要書類の未提出など）は新被保険者証の発行を見合わせます。
- ご不明な点などがございましたら、当組合までお問い合わせください。

日曜日の集団健診について

宮崎市郡医師会病院 健診センター（旧：宮崎市郡医師会成人病検診センター）が
下記住所に移転しました。

【住 所】 宮崎市大字有田1173番地 宮崎市郡医師会館 4階

【電話番号】 0985-77-9108

※健診予約は当組合（0985-22-6588）までお電話ください

令和2年	9月13日	10月18日			
令和3年	1月17日	2月7日	2月21日	3月7日	3月14日

※定員各30名

※子宮頸がん検診および大腸内視鏡検査は平日となります。

健康保険適用除外申請の手続きについて

事業所が法人化するなどの場合は、社会保険（健康保険と厚生年金）が強制適用となりますが、当組合にすでにご加入中の方は、年金事務所から健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き当組合に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※各種申請書は、当組合ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

**令和2年7月7日(火) 第6回常任理事協議会****医師会関係
(議決事項)****1. 県医師会館2階研修室並びに5階会議室の
利用基準の策定について**

宮崎県および日本産業衛生学会の基準などを踏まえ、1机1席を原則とし、換気装置は全熱交換の強モードで運転、晴天時は窓を開け換気を徹底したうえで、最大利用者数を2階研修室70席、5階会議室は20席とすることなどが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について**①県新型コロナウイルス感染症対策協議会
委員の推薦について**

→役員改選などにとまなう委員の交代で、濱田副会長に加え峰松理事を推薦することが承認された。

**3. 7/28(火) (県医) 令和2年度県医師会と県
福祉保健部・病院局との意見交換会の開催
について**

県が主催する意見交換会で、県医師会の全理事が出席し令和2年度の県医師会関係事業と新型コロナウイルス感染症対策について意見交換することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について**①「九州ホスピタルショウ2020」後援名義**

使用のお願いについて

→「地域を支える医療・介護・福祉の力」をテーマ開催される展示会で、新型コロナウイルス感染症の拡大状況などに十分配慮することをお願いしたうえで、名義後援を行うことが承認された。

**5. 令和2年度公衆衛生事業功労者表彰（日本
公衆衛生協会会長表彰）の推薦について**

公衆衛生事業のために永年にわたり献身的かつ模範的な活動が続けてきた方を表彰するもので、各郡市医師会に照会の結果、4名を推薦することが承認された。

6. 九州医師会連合会について**①8/1(土) (佐賀) 九州医師会連合会事務
引継の開催について**

→7月1日から1年間担当する九州医師会連合会の公印および帳票類などを含めた事務引継ぎを行うもので、河野会長、吉田常任理事、小牧常任理事が出席することが承認された。

②九州医師会連合会会員数等について

→九医連会則に則り、すでに九医連の会長に就任している河野会長の他、委員に濱田・山村副会長、吉田・小牧常任理事、松本議長、荒木・池井・金丸常任理事を選出することが承認された。また、郡市医師会所在地および会員数などについては、事務局で確認のうえ、報告することとなった。

(報告事項)**1. 6月末日現在の会員数について****2. 7/3(金) (シーガイア) 沖縄県医師会長と
の懇親会について****3. 7/4(土) (シーガイア) 九医連常任委員会
について****4. 7/5(日) (高鍋・西都) 九医連常任委員会
視察について****5. 7/3(金) (総合保健センター) 県新型コロナ**

ナウウイルス感染症対策調整本部会議について
【次回常任理事協議会へ】

6. 7/7(火)(県医) 治験審査委員会について

7. その他

- ①日州医談執筆のお願いについて
- ②日向入郷医療圏におけるドライブスルー方式のPCR検体採取所の運用について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 九州医連連絡会の役員について

九州医連連絡会規約に則り、すでに九州医連連絡会の委員長に就任している河野委員長その他、「執行委員は九州医師会連合会委員」と規定されていることから、濱田・山村・吉田・小牧常任執行委員、松本委員、池井常任執行委員とすることが承認された。

2. 令和3年度国・県に対する要望について

役員に照会の結果、新たに国への要望に「新型コロナウイルス感染症対策」と「高薬価の治療薬使用中の患者さんにおける問題点」を加え、国・県いずれも9つの要望を提出することが承認された。

3. 7/18(土)(ホテルメリージュ) 選挙対策委員会の開催について

次期衆議院議員総選挙の候補者選考について協議する委員会で、選挙対策委員の河野委員長が、別の公務のため欠席で回答とすることとなった。

(報告事項)

1. 7/4(土)(シーガイア)九州医連連絡会常任執行委員会について

令和2年7月14日(火) 第7回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症

担当理事連絡協議会7～12月の開催日程について

7/31(金), 8/27(木), 9/24(木), 10/30(金), 11/27(金), 12/25(金)にいずれもTV会議システムを使用して開催される担当理事連絡協議会で、公衆衛生担当理事が参加することが承認された。

2. 世界医師会準会員の更新について

河野会長は日医理事として日医が登録することから、県医師会として濱田・山村副会長の更新(2020年9月1日から翌2021年8月31日まで)が承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎地方労働審議会委員(第10期)の推薦について

→宮崎労働局長の諮問に応じ、労働関係法令の施行や公共職業安定所の業務に関する重要事項を調査・協議する審議会で、本会の役員変更にとまなう委員の推薦依頼があり、産業医担当の瀬ノ口常任理事を推薦することが承認された。

②新人看護職員研修推進協議会委員の推薦について

→新人看護職員研修事業の円滑な推進を目的に設置される協議会で、本会の役員変更にとまなう推薦依頼があり、看護担当の瀬ノ口常任理事を推薦することが承認された。

③「地域医療構想アドバイザー」の推薦について

→都道府県の地域医療構想の進め方と地域医療構想調整会議の議論活性化のために助言することなどを目的するアドバイザーで、引き続き金丸常任理事と宮崎大学医学部の鈴木斎王先生を推薦することが承認された。

4. 宮崎県医師会会員名簿(令和2年版)作成要領について

隔年で作成している会員名簿について、会員の意向を確認したうえで、前回同様の形で作成することが承認された。

5. 令和2年度救急医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した医師などに贈られる表彰で、1名を推薦することが承認された。

6. 令和2年度救急医療事業功労者の知事表彰候補者の推薦について

救急医療対策の推進など、救急医療の確保に貢献した医師などに贈られる表彰で、4名を推薦することが承認された。

7. 業務委託について

①令和2年度救急医療施設医師等研修事業について

→医師の救急医療に対する学識と技能向上を図ることを目的に、ICLS指導者養成ワークショップおよびACLS研修会などを開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

8. 宮崎県内医師確保に向けた協定書と宮崎県医師養成・定着推進宣言について

県内の医師不足および地域偏在の解消並びに安定的な地域医療の確保を目的に、県・県教育庁・宮崎大学医学部・県医師会の4者が協定を結び、「宮崎県医師養成・定着推進宣言～宮崎で医師を育て県内定着を応援する宣言～」を行うもので、協定を締結することが承認され、宣言などの文面の変更は河野会長に一任することとなった。

9. 令和3年度地域医療介護総合確保基金（介護従事者確保）に係る事業提案について

関係機関に照会の結果、「認知症ケアに携わる人材育成のための研修」と「認知症地域医療支援」の2つの事業を提案することが承認された。

10. 九州医師会連合会について

①日本医師会 会内委員会委員の推薦について
日医が設置する委員会のうち、26の委員会にブロック1名の推薦枠があることから、役員にメールで委員就任希望の意向確認を行うことが承認された。

（報告事項）

1. 7/8(水)（支払基金）支払基金幹事会について

2. 7/10(金)（県庁）県新型コロナウイルス感染症対策協議会について

3. 7/3(金)（総合保健センター）県新型コロナウイルス感染症対策調整本部会議について

4. 7/14(火)（県庁）県国民健康保険運営協議会について

5. 7/11(土)（県医）県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会について

6. 7/11(土)（シーガイア）県専門医プログラム合同説明会について

医師連盟関係

（報告事項）

1. 7/14(火)（宮観ホテル）公明党県本部政策要望懇談会について

令和2年7月28日(火) 第6回全理事協議会

開会に先立ち、県福祉保健部 渡辺部長、医療薬務課 小牧課長、健康増進課 川越課長が来会し、県の申し出により、本日延期となった「県福祉保健部・病院局との意見交換会」の理由を説明するとともに、感染拡大が続く“新型コロナウイルス感染症”の発生動向と対応状況の説明を行った。

医師会関係

（議決事項）

1. 会費減免申請について

高齢による会費減免6名（県医1名、日医5名）と名誉会員の委嘱による会費減免

1名が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎産業保健総合支援センターの運営主幹の推薦について

→役員改選にともなう後任の推薦依頼で、産業医担当理事の中から人選し推薦することが承認された。

②宮崎産業保健総合支援センター運営協議会委員の推薦について

→産業保健総合支援センターの効率的・効果的な運営のために設置される協議会で、役員改選にともなう後任の推薦依頼があり、産業医担当理事の中から人選し推薦することが承認された。

③宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会委員の推薦について

→専門的な見地から検診医療機関を指導することなどを目的に設置される協議会で、役員改選にともなう推薦依頼があり、胃がん部会の担当委員として金丸常任理事を推薦することが承認された。

④宮崎県障害者施策推進協議会委員の推薦並びに後任の就任承諾について

→障がい者に関する施策の総合的かつ計画的な推進を目的に設置される協議会で、任期満了にともなう推薦依頼があり、引き続き山村副会長を推薦することが承認された。

⑤宮崎大学医学部医の倫理委員会委員の推薦について

→医の倫理的配慮を図ることを目的に設置された委員会で、本会の役員改選にともなう後任の推薦依頼があり、倫理・自浄担当の大塚理事を推薦することが承認された。

3. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する「医療秘書認定試験委員会」の委員に池井常任理事を委嘱し

たいとの依頼があり、本会として了承することが承認された。

4. 9/15(火) (日医) 令和2年度第1回都道府県医師会長会議（テレビ会議）の開催について

日本医師会の役員改選後、積極的に政策提言を求める機会に改変すべくグループ討議に変更し初めて開催される会長会議で、テレビ会議システムを利用して河野会長が出席することが承認された。

5. 県医師会役員の役割分担について

理事会（6/20）後、一部修正された役割分担の最終確認が行われた。「女性医師」の名称を「男女共同参画」に変更することが承認されるとともに、今後、担当の追加などを希望する場合には、総務担当理事に申し出ることとなった。

6. 県医師会の各種委員会について

本会に設置される30の委員会の確認作業が行われ、定款第57条および県医師会委員会規程に基づき、委員構成および委員長・副委員長を決定した。

7. 8/4(火) (県医) 九州医師会医学会実行委員会の開催について

新型コロナウイルス感染症の再拡大および第2波、第3波の懸念などから、今後の方針を検討するために開催する実行委員会で、県内発生状況などを考慮し、規模を縮小して11分科会の会長および6記念行事の代表世話人を中心に開催することとなった。

8. 業務委託について

①妊娠等について悩まれている方のための相談援助業務の委託契約について

→妊娠などに関する相談支援体制の充実強化と虐待の発生予防を目的に、養護教諭などを対象にした研修会および相談窓口の設置などを行う事業で、契約を締結することが承認された。

9. 8・9月の行事予定について

8月の追加行事確認が行われ、役員会を含めた8月および9月の行事予定が承認された。

(報告事項)

- 1. 7/18(土) (宮崎市郡医師会病院) 宮崎市郡医師会病院竣工式・内覧会について
- 2. 7/21(火) (県医) 日医理事会について
- 3. 7/26(日) (県庁) 宮崎県新型コロナウイルス感染症対策協議会について
- 4. 7/15(水)・22(水) (県医) 広報委員会について
- 5. 7/17(金) (県医) 県訪問看護ステーション連絡協議会役員会について
- 6. 7/20(月) (宮大医学部) 県地域医療オリエンテーションについて
- 7. 7/27(月) (県医) 生活習慣病検診各部長連絡協議会について
- 8. 7/27(月) (県庁) 県高齢者サービス総合調整推進会議認知症施策部門について【中止】
- 9. 7/16(木) (県医) 県有床診療所協議会役員会について
- 10. 7/15(水) (県医) 妊婦に係る新型コロナウイルス検査体制整備についての協議について
- 11. 7/22(水) (県庁) 県自殺対策推進協議会について
- 12. 7/28(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
- 13. 7/18(土) (県医) 産業医研修会(実地)について

医師協同組合理事・運営委員会協議会
(協議事項)

1. 県医師協同組合運営委員会委員長、副委員長の選任について

県医師協同組合の役員を除く県医師会の理事(副会長、常任理事含む)16名を県医師協同組合運営委員会の委員とし、委員長を濱田副会長、副委員長を池井常任理事とすることが承認された。

2. その他

(報告事項)

1. 7/28(火) (県医) 医協理事会について

2. その他

医師連盟関係

(議決事項)

1. 8/4(火) (日医) 日医連執行委員会(テレビ会議)の開催について

7/21(火)に引き続き、次期参議院議員選挙の公認候補者を検討するために開催される日医連執行委員会で、現在、自見はなこ参議院議員を県医師連盟として推薦することの賛否を書面で照会していることが報告されるとともに、8/4(火)の日医連執行委員会に河野委員長と吉田常任執行委員が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 7/21(火) (県医) 日医連執行委員会について

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a	a	d	b	d	a	a	a	b	d

県 医 の 動 き

(8月)

1	九医連事務引継ぎ（日医TV会議）（会長他）
2	新型コロナウイルス感染症患者宿泊療養所視察（濱田副会長）
4	第8回常任理事協議会（会長他） 県総合計画審議会・県地方創生推進懇話会（会長） 日医連執行委員会（日医TV会議）（河野委員長他） 治験審査委員会（荒木常任理事他） 九医学実行委員会（会長他）
6	県内科医会理事会（金丸常任理事他）
8	日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会（Web会議）（金丸常任理事） 産業医研修会（前期）（川野理事） 九医連常任委員会（日医TV会議）（会長） 九州医連連絡会常任執行委員会（日医TV会議）（河野委員長）
11	第9回常任理事協議会（会長他）
12	広報委員会（荒木常任理事他）
18	新型コロナウイルス感染症対策本部会議・日医理事打合会（日医TV会議）（会長） 日医理事会（日医TV会議）（会長）
20	県産婦人科医会全理事会（嶋本理事他）

21	妊産婦寄り添い支援事業の実施に向けての打合せ（濱田副会長他）
24	県教育庁等職員安全衛生管理委員会（会長） 広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 医師国保組合理事会（秦理事長他）
25	医協理事・運営委員合同協議会（河野委員長他） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（嶋本理事） 医協理事会（河野理事長他） 第7回全理事協議会（会長他）
26	労災診療指導委員会（川野理事） 全国メディカルコントロール協議会連絡会 医学会誌編集委員会（濱田副会長他）
27	都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会（日医TV会議）（濱田副会長他） 奥様医業経営塾特別セミナー（小牧専務理事）
29	九医連常任委員会（日医TV会議）（会長他）
30	日本産科婦人科学会専門医制度認定二次審査（上山理事）
31	県立病院事業評価委員会（会長）

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和2年8月3日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 8人

1) 男性医師求職登録数 8人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	5	4	1
麻酔科	1	0	1
精神科	1	0	1
老健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 77人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和2年度	3	0	3
平成16年度から累計	56	21	77

3. 求人登録 98件 353人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	107	84	23	消化器外科	3	2	1
外科	27	22	5	乳腺外科	3	3	0
整形外科	29	23	6	健診	8	5	3
精神科	14	13	1	泌尿器科	4	2	2
脳神経外科	12	8	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	15	13	2	皮膚科	5	2	3
麻酔科	14	10	4	婦人科	2	2	0
眼科	10	8	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	11	10	1	人工透析	7	5	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	5	4	1	診療科目不問	3	3	0
神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	10	9	1	内分泌糖尿病内科	2	2	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	8	7	1
救命救急科	9	9	0	合計	353	280	73

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会さから病院宮崎	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮 崎 市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮 崎 市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高 岡 町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ 東部病院	都 城 市	外,脳外,内,透,眼,皮,放, 腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社) 藤元メディカル藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内	1	常勤
230162	一社) 藤元メディカル藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都 城 市	糖尿内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都 城 市	内	1	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延 岡 市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精,内	3	常勤・非常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
230206	医)社団 光学堂 のべおか老健あたご	延 岡 市	老健	1	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖尿内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内	1	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日 南 市	外,内	2	常勤
230198	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和2年8月3日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ:2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地:2,280.83㎡ (691.16坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 2階 547.79㎡ } 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者:西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 小林市細野59-1 土地:1,098.23㎡ (322.79坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) 2階 96.00㎡ } ※駐車場あり(29台)	所有者:西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地:1,991.34㎡ (603.43坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) 2階 638.35㎡ } ※駐車場あり(30台)	所有者:(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地:4,449㎡ (1,348.18坪) 建物:鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地:1,654.58㎡ (501.38坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 2階 338.70㎡ } 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台)	所有者:(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地:875㎡ (265.15坪) 建物:木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者:西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyouto@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和2年8月27日

9			月			
1	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 18:30 九州厚生局宮崎事務所等との協議 19:00 第10回常任理事協議会	17	木	17:00 県慢性腎臓病対策推進会議世話人会	↑
			18	金		
2	水		19	土	15:00 県産婦人科医会秋期総会	国 保 審 査
3	木	19:00 在宅医療研修会企画小委員会 19:00 学校医部会総会・医学会 (Web会議)	20	日		
4	金	15:00 日医医療秘書認定試験委員会 (日医TV会議)	21	月	(敬老の日)	社 保 審 査
			22	火	(秋分の日)	
5	土	14:30 産業医研修会 (前期)	23	水		↓
6	日	11:00 全国有床診療所協議会常任理事会 (Web会議)	24	木	15:00 県個人情報保護審議会 16:00 都道府県医師会新型コロナ ウイルス感染症担当理 事連絡協議会 (日医TV 会議) 19:00 広報委員会 (Web会議)	↓
7	月					
8	火	19:00 第11回常任理事協議会				
9	水	13:30 宮大経営協議会・学長選考会議				
10	木	19:30 県産婦人科医会常任理事会	25	金	19:00 医師国保組合理事会	
11	金		26	土		
12	土		27	日	10:00 日本プライマリ・ケア連合学会 ブロック支部長会議 (Web会議)	
13	日		28	月		
14	月	19:00 広報委員会 (Web会議)	29	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮 崎部会 18:15 医協理事会 19:00 第8回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	
15	火	13:00 日医理事打合会 (日医TV会議) 13:00 日医理事会 (日医TV会議) 15:00 都道府県医師会会長会議 (日医TV 会議)				
16	水		30	水	14:30 (東京) 全国医師国保組合連合 会国保問題検討委員会 15:00 労災診療指導委員会	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和2年8月27日

10			月			
日	曜	内 容	日	曜	内 容	
1	木	19:00 園医部会総会・研修会 (TV会議)	17	土	(鹿児島)九州医師協同組合連合会通常総会	↑
2	金				14:00 かかりつけ医認知症対応力向上研修会 (TV会議)	
3	土					↑
4	日		18	日	10:00 (大阪) レジナビフェア	
5	月		19	月	19:00 広報委員会 (Web会議)	↑
6	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第12回常任理事協議会	20	火	13:00 (日医) 日医理事打合会 14:00 (日医) 日医理事会	
7	水		21	水		↓
8	木	19:30 県産婦人科医会常任理事会	22	木		↓
9	金		23	金		
10	土	14:00 九医連常任委員会 (日医TV会議) 15:00 九医連第1回各種協議会 (日医TV会議)	24	土		↓
			25	日		
11	日		26	月		
12	月	19:00 医療従事者向け認知症対応力向上研修会 (TV会議) 19:00 広報委員会 (Web会議)	27	火	13:30 宮大経営協議会・学長選考会議 18:00 九州地方社会保険医療協議会 宮崎部会 18:15 医協理事会 19:00 第9回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	
		19:00 第13回常任理事協議会				
14	水	県による公益法人立入検査 16:00 支払基金幹事会	28	水	15:00 労災診療指導委員会	
15	木		29	木	11:30 都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会 (日医TV会議) 14:00 小児在宅医療に関する人材養成講習会 (日医TV会議)	
16	金	13:30 (東京) 全国医師国保組合連合会代表者会 15:00 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 19:00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研修会) (TV会議)	30	金	16:00 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (日医TV会議)	
			31	土	14:30 産業医研修会 (実地) 15:30 全国医師会医療秘書学院連絡協議会 (Web会議)	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

日本医師会からのお知らせ

**応募
要項**

生命

いのち

第4回

を見つめる

フォト&エッセー

フォト
部門

エッセー
部門

小中高生の部
新設

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

審査員 (順不同、敬称略)


野町和嘉
写真家
/日本写真家協会会長


岩合光昭
動物写真家


松下奈緒
女優 / 音楽家

■ エッセー部門


養老孟司
東京大学名誉教授
/解剖学者


玄侑宗久
作家 / 福聚寺住職


水野真紀
女優

応募締め切り

**2020年
10月7日 水**

必着



公式ホームページ <https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/>

主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省（申請中） 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社

生命を見つめるフォト&エッセー 検索





人間、動物、自然など被写体は自由です。

※デジタルカメラで撮影したもの、デジタルプリントも応募可能です。

※500万画素以上であれば携帯電話等での撮影も可能です。

※画像処理等の加工、合成及び組み写真は不可とします。

■作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。

■応募作品は、2017年6月1日以降に撮影したものに限りです。

■応募は1人3点までに限りです。

【賞】

一般の部	厚生労働大臣賞(1点)	賞金10万円、賞状他
	日本医師会賞(1点)	賞金10万円、賞状他
	読売新聞社賞(1点)	賞金10万円、賞状他
	審査員特別賞(1点)	賞金5万円、賞状他
小中高生の部	入選(若干名)	賞金3万円、賞状他
	最優秀賞(1点)	図書カード3万円分、賞状他
	優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状他

応募締め切り 2020年10月7日※ 必着

■応募作品は自作、フォト部門は本人撮影の未発表作品に限りです。盗作、二重応募、類似、事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。

※すでに書籍化したものや、公の刊行物に掲載されたものは応募不可とします。

※違反が確認された際は、受賞決定後も賞の取り消しとなる可能性があります。

※ご記入いただいた個人情報、受賞した場合の連絡、作品に関する問い合わせ、取材、本コンテストに関するご案内のみに使用し、それ以外の目的での使用や、第三者に譲渡することはありません。

作品
送付先

〒100-8055

東京都千代田区大手町1-7-1

読売新聞東京本社 次世代事業部

「生命を見つめるフォト&エッセー」係



※記載事項は変更になる場合があります。最新情報は公式ホームページをご覧ください。

病気やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者との交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師から宛てに送ったという想定「感謝の手紙」などを募集します。

※小学生の部では、生命(いのち)を身近に感じたエピソードをテーマとします。

【一般の部・中高生の部】2,000字(原稿用紙1~5枚)以内。

【小学生の部】1,200字(原稿用紙1~3枚)以内。

※パソコン、ワープロ使用の場合、1ページ400字(20字×20行)とします。

※ウェブ応募の際は公式ホームページからダウンロードしたテンプレートを使用してください。

【賞】

一般の部	厚生労働大臣賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	日本医師会賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	読売新聞社賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	審査員特別賞(1点)	賞金10万円、賞状他
中高生の部	入選(若干名)	賞金3万円、賞状他
	最優秀賞(1点)	図書カード3万円分、賞状他
	優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状他
小学生の部	最優秀賞(1点)	図書カード1万円分、賞状他
	優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状他

応募規定

■応募作品は返却いたしません。

■入賞作品の発表は、2021年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイト、作品と実名、年齢を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。

■表彰式は2021年2月に東京都内で実施予定です。

■医師および医療従事者も応募可能です。

応募方法

◆ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ

(<https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。

◆エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)、ボールペン、万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。

◆郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。



応募用紙

※氏名は実名のみの受付となります。

応募部門		題名	
フォト部門 一般の部	フォト部門 小中高生の部	エッセー部門 一般の部	エッセー部門 中高生の部
氏名 ふりがな		年齢 歳	TEL
(年 月 日生)		() -	
性別 (男) (女)		FAX	
() -		MAIL	
住所			
都 道 府 県			
職業(学校名・学年)		フォトのみ	撮影年月日
		年 月 日	撮影場所
			撮影機材
確認の上、チェック ☒ を入れてください			
☐ (フォト部門のみ)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません ☐ この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません			
本コンテストを知ったきっかけ			
(1) 読売新聞を見て (2) 病院、医療機関で見て (3) 学校(小・中・高・大・専門)で見て (4) 写真店・カメラ屋で見て (5) 読売新聞ホームページを見て (6) このチラシを見て (7) 医療関係者から聞いて (8) 友人・知人から聞いて (9) 雑誌や本を見て(具体的に:) (10) 公募サイトで見て(具体的に:) (11) インターネット広告を見て (12) ヨミドクターを見て (13) 日本医師会ホームページを見て (14) 日本医師会からのお知らせを見て (15) その他(具体的に:)			

入賞作品についての著作権
フォト部門は撮影者に帰属します。エッセー部門は主催者に帰属します。
両部門とも、入賞作品について、読売新聞紙上及びその他広報物に使用する権利は、主催者が有します。

キリトリ

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となったものがあります。

【中止】や【延期】の表示のないものについても，参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和2年度宮崎県 医師会学校医部会 総会・医学会 【TV会議】 9月3日(木) 19:00～20:10 県医師会館【TV会 議場：都城，延岡， 日向，児湯，西都， 南那珂，西諸】	新型コロナウイルス感染症に関連した児童生徒の心の健康 宮崎大学医学部 臨床教授 直野 慶子	69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 宮崎県医師会学校医部会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会 9月4日(金) 19:00～21:00 メインホテル	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第189回宮崎県眼科 医会講習会（Web 講習会） 9月12日(土) 17:30～19:00 ホテルスカイタワー ※受講は現地また はWeb 参加費：3,000円	滲出型加齢黄斑変性における抗VEGF薬の使い方アップデート 旭川医科大学 眼科学講座 教授 柳 靖雄	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 ノバルティスファーマ(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 9月15日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	ストレスチェックの効果的な活用法 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県皮膚科医会 学術講演会(Web 講習会) 9月17日(木) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル ※受講は現地また はWeb	当院における生物学的製剤によるアトピー性皮膚炎の 治療経験 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座皮膚科学分野 医員 西川 陽太郎 ----- type2炎症反応の側面から考えるアトピー性皮膚炎治療 獨協医科大学 皮膚科学講座 教授 井川 健	26 (0.5) 73 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 サノフィ(株) ☎0120-852-297
宮崎県医師会産業 医研修会 9月18日(金) 19:00～21:00 県医師会館	精神科産業医から見た定期健康診断の重要性(Ⅰ) 産業保健相談員 西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和2年度宮崎県 医師会園医部会総 会・研修会 【TV会議】 10月1日(木) 19:00～20:10 県医師会館【TV会 議場:都城,延岡, 日向,児湯,西都, 南那珂,西諸】	予防接種最新情報2020 ～新しく定期接種となるロタウイルスワクチンとワク チンの接種間隔の変更を含めて～ つむら診療所 副院長 久留米大学小児科 非常勤講師 津村 直幹	11 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会園医部会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第190回宮崎県眼科 医会講習会（Web 講習会） 10月10日(土) 16：30～18：40 宮崎観光ホテル ※受講は現地また はWeb 参加費：3,000円	滲出型加齢黄斑変性に対する治療アップデート ～ベオビュは特効薬となりうるか～ 関西医科大学 眼科学教室 講師 大中 誠之	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 ノバルティスファーマ(株)
	ぶどう膜炎難治症例の考え方 九州大学医学研究院 眼科学 教授 園田 康平	36 (1.0)	
宮崎大学医学部附 属病院2020年度医 療安全管理講演会 10月15日(木) 17：00～18：15 宮崎大学医学部附 属病院臨床講義室 205	【専門医共通講習－②医療安全(必修)：1単位】 航空機整備におけるヒューマンエラー対策 全日本空輸株式会社 整備センター 品質保証室 部品品質管理部 マネジャー 土方 健次郎	7 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属 病院医療安全管理部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-9795
宮崎県医師会産業 医研修会 10月15日(木) 19：00～21：00 県医師会館	両立支援の実際 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 患者支援センター センター長 鈴木 斎王 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		5 (0.5)	
		7 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 10月20日(火) 19：00～21：00 串間市総合保健福 祉センター	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の現地研修会：2単位	10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		8 (0.5)	
		11 (0.5)	
		12 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第31回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー 10月31日(土) 15:25～19:00 シーガイアコンベンションセンター 参加費:1,000円 【延期】	関節リウマチにおける骨関節破壊機序とその対策 大阪大学 医学系研究科運動器再生医学共同研究講座 特任講師 蛭名 耕介	1 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ◇共催 ※中外製薬㈱ ☎0985-20-8118
	骨粗鬆症の診断と治療 ～外来診療におけるピットフォール～ 産業医科大学医学部 整形外科学 教授 酒井 昭典	59 (0.5) 77 (0.5)	
	画像データから考える変形性膝関節症の治療戦略 京都府立医科大学 医学研究科運動器機能再生外科学 教授 高橋 謙治	61 (0.5) 62 (0.5)	
第63回宮崎県スポーツ学会 11月7日(土) 15:00～18:30 県医師会館 参加費:1,000円	剣道におけるスポーツ医・科学の活用 専修大学文学部 ジャーナリズム学科 教授 齋藤 実	61 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 久光製薬㈱ ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	スポーツ現場における医療～レガシーと未来～ 順天堂大学 スポーツ医学 教授 高澤 祐治	1 (0.5) 10 (0.5)	
	宮崎県でみられる感染症とスポーツ時の対策 宮崎大学医学部 内科学講座免疫感染病態学分野 教授 岡山 昭彦	8 (0.5) 11 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 11月10日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の実地研修会:2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月13日(金) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月18日(水) 19:00～21:00 県医師会館	建設現場における死亡災害の実態とせき損等職業性外傷 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 研究グループ部長 高木 元也 生涯研修の専門研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第120回九州医師会 医学会 11月28日(土) 14:00～16:10 シーガイアコンベン ションセンター	寿命の鍵を握るテロメアの謎を解く ～ヒトテロメア分子機構の解明及び診断・治療の開発～ 宮崎大学医学部 機能制御学講座物質科学分野 教授 徐 岩 宮崎の強み：本格焼酎の魅力 ～製造からおいしい飲み方そして機能性・アルコール 体質まで～ 宮崎大学 副学長・理事 水光 正仁	3 (1.0) 0 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 九州医師会医学会
第120回九州医師会 医学会第10分科会 泌尿器科学会/第229 回宮崎県泌尿器科 医会 11月28日(土) 16:30～19:00 シーガイアコンベン ションセンター	日本臨床泌尿器科医会講演 瀬尾クリニック 院長 瀬尾 一史 泌尿器腫瘍における新規治療薬にかかる医療費を考察する 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野 講師 寺田 直樹 腹腔鏡技術認定制度について 秋田大学医学系研究科 腎泌尿器科学講座 教授 羽瀧 友則 泌尿器腹腔鏡手術の実際 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野 准教授 向井 尚一郎	7 (0.5) 7 (0.5) 7 (0.5) 7 (0.5)	◇主催 宮崎県泌尿器科医会 (連絡先) みのだ泌尿器科医院 ☎0985-54-7171

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第120回九州医師会 医学会第4分科会 整形外科学会 11月28日(土) 17:45～18:45 シーガイアコンベンションセンター	医療安全における実地診療で注意すべき運動疾患 ～診療で落とし穴に入らないために～ 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座整形外科学分野 教授 帖佐 悦男	7 (1.0)	◇主催 ※宮崎県整形外科医会 ☎0985-22-5118
第120回九州医師会 医学会第2分科会 小児科学会/第73 回九州小児科学会 11月29日(日) 8:30～12:10 シーガイアコンベンションセンター	小児科診療と在宅医療 おがた小児科内科医院 医療型特定短期入所施設かぼちゃんクラブ 理事長 緒方 健一	72 (0.5) 80 (0.5)	◇主催 九州小児科学会 ◇共催 ※宮崎県小児科医会 ☎0985-23-9100
	レセプト審査の現状と今後 社会保険診療報酬支払基金福岡支部 医療顧問 高木 誠一郎	6 (0.5) 9 (0.5)	
第120回九州医師会 医学会第9分科会 眼科学会 11月29日(日) 9:00～12:00 シーガイアコンベンションセンター	視神経疾患ケーススタディ 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座眼科学分野 准教授 中馬 秀樹	36 (1.5)	◇主催 宮崎県眼科医会 (連絡先) 宮崎県眼科医会事務局 ☎0985-28-1015
	視覚障害を支援するためのデバイスの開発と応用 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座眼科学分野 教授 池田 康博	36 (1.5)	
第120回九州医師会 医学会第3分科会 外科学会 11月29日(日) 10:00～12:00 シーガイアコンベンションセンター	私の考える外科医の学生・若手医師教育 宮崎大学医学部 外科学講座肝胆膵外科学分野 教授 七島 篤志	1 (1.0)	◇主催 九州医師会医学会第3分科会外科学会 ◇共催 ※宮崎県外科医会 ☎0985-23-9100
	労基署立ち入りから3年半 好生館は変わったか？ 佐賀県医療センター好生館 館長 佐藤 清治	0 (0.5)	
【中止】		6 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第120回九州医師会 医学会第5分科会 産科婦人科学会 11月29日(日) 10:00～12:00 シーガイアコンベンションセンター 【中止】	【専門医共通講習－①医療倫理(必修): 1単位】 臨床遺伝について知っておきたいこと 宮崎大学医学部附属病院 産婦人科 病院教授 山口 昌俊	3 (1.0)	◇主催 宮崎県産科婦人科学会 ◇共催 宮崎県産婦人科医会 (連絡先) 宮崎県産科婦人科学会事務局 ☎0985-22-5118
	婦人科疾患における腹腔鏡下手術の進歩 石川県立中央病院 産婦人科 部長 総合母子医療センター 部長 干場 勉	0 (0.5) 53 (0.5)	
第120回九州医師会 医学会第11分科会 透析学会 11月29日(日) 10:00～12:00 シーガイアコンベンションセンター	臨床医から見たファブリー病 霧島記念病院 副院長 中尾 正一郎	31 (0.5) 51 (0.5)	◇主催 宮崎県透析医会 (連絡先) 宮崎大学医学部血液・ 血管先端医療学講座 ☎0985-85-0872
	尿沈渣検査からみつかるファブリー病 ～マルベリー細胞・小体の検出～ 九州大学病院 検査部 主任 川満 紀子	38 (0.5) 53 (0.5)	
第120回九州医師会 医学会第8分科会 皮膚科学会/第30回 皮膚の日講演会 11月29日(日) 12:00～17:00 シーガイアコンベンションセンター	一人の教師として・人間として 講師 斉藤 正健	72 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 宮崎県皮膚科医会 日本臨床皮膚科医会宮崎県支部
	土呂久の記録者として 講師 川原 一之	11 (1.0)	日本臨床皮膚科医会 日本皮膚科学会 ◇後援 厚生労働省 NHK
	ヒ素中毒の経過と転帰～土呂久ヒ素中毒を中心に～ 青木皮膚科 出盛 允啓	12 (1.0)	日本医師会 (連絡先) フタバ皮膚科形成外科医院 ☎0985-53-8877

診療メモ



ふるえの診療

宮崎大学医学部附属病院脳神経内科 講師 望 月 仁 志

1. はじめに

「ふるえ（振戦）」を主訴に医療機関を受診する患者さんはとても多いです。すぐに頭に浮かぶのはパーキンソン病のふるえで、手の動きが止まったときに出現する静止時振戦です。パーキンソン病は10万人に200人程度とされ、その75%に静止時振戦が出現します。別のふるえである本態性振戦は、なにかをしようとしたとき、一定に姿勢をとったときに目立つふるえで、全人口の5%程度存在します。即ち10万人に5,000人も存在し、実はパーキンソン病よりも圧倒的に多いです。

2. それぞれの振戦の特徴

ふるえを呈する疾患のそれぞれの特徴を表1にまとめました。指先を伸ばして両手を前に伸ばした状態で手指がふるえる「姿勢時振戦」、両手を脱力したときに目立つ「静止時振戦」、細かい動作をしようとすると上手にできない・ふるえるような症状「小脳性のゆれ」があります。

指鼻指試験では、姿勢時振戦では指先が細かく規則的に振るえ、静止時振戦では動作はパーキンソン症状のためにゆっくりになりますが、正常の軌跡。小脳性のゆれの場合は不

表1 ふるえ・振戦の特徴

	姿勢時振戦	静止時振戦	小脳性のゆれ（振戦）
主 訴	書字困難 コップを持つとふるえる 緊張で増大、飲酒で軽減	日常生活に支障ない 見た目が悪い 周囲から指摘される	細かい動作が難しい 字が下手になった 歩行時のふらつき
特 徴	姿勢をとると出現 安静にすると消失	静止時、歩行時に出現 力を入れると軽減・消失	動作をするときに作動筋 と拮抗筋の調節がうまく いかない
周波数	4-14Hz（本態性振戦） 8-12Hz（生理的振戦）	3-6 Hz	3-6 Hz（不規則）
振 幅	低	高	目標に近づくと増大
指鼻指試験	規則的な振戦	正常（緩徐な動き）	ゆれる（不規則な動き）
渦巻きを描画 （図を参照）	規則的な振動が混入	ほぼ正常 描画のスピードは遅い	不規則に乱れる
疾患など	本態性振戦 生理的振戦 （緊張すると増大） （交感神経興奮で増大） 老人性振戦 甲状腺機能亢進症	パーキンソン病 パーキンソン症候群 （薬剤性、多系統萎縮症 など）	小脳失調 脊髄小脳変性症 小脳系の脳血管障害 多発性硬化症
対応・治療	交感神経遮断薬 抗てんかん薬 脳深部刺激法	原疾患の治療 抗パーキンソン病薬 脳深部刺激法	原疾患の治療 抗てんかん薬



図

規則にゆれるような動きになります。症状からは本態性振戦と区別が困難な正常範囲内のふるえもあります。これは緊張するとふるえるような生理的振戦の増幅されたものと、老人性振戦があります。甲状腺機能亢進症によるふるえも、交感神経系が亢進したための振戦で生理的振戦との区別は症状からはできません。

別の診察方法として図のように基準となる「渦巻き」をなぞってもらう診察法があります。正常もしくはパーキンソン病患者さんは、渦巻きから大きくずれることはありませんが、姿勢時振戦の方は、細かくふるえます。小脳失調の患者さんは不規則にずれます。

治療は、本態性振戦は交感神経遮断薬（アロチノロールなど）、抗てんかん薬（クロナゼパムなど）を使用し、多くの患者さんにおいて症状は軽減します。パーキンソン病に対しては、抗パーキンソン病薬（レボドパ製剤、ドパミン受容体刺激薬、トリヘキシフェニジルなど）を投与します。小脳性のゆれはクロナゼパムを投与することもあります、原疾患の治療が優先されます。

3. 治療効果判定のためのふるえ定量化への試み

治療薬を開始し、次回外来で患者さんが「良くなりました」と言っていたとしても、具体的な指標は数段階の定性的な評価しか存在

しません。同様に小脳失調の患者においても、症状を簡易的に定量化する手法は存在しません。このような問題点を解決するために宮崎大学脳神経内科ではスマートフォンアプリ「ふるえAI」¹を開発しました。

実際の方法は、お手持ちのスマートフォンに「ふるえAI」をダウンロードしていただき、同時に指示された基準となる「渦巻き」を印刷。それを患者さんに外側から赤ペンでなぞっていただき、スマートフォンで撮影する。そうすると、基準線と比較して「長さ」の比率（％）と、基準線からの「ずれ」の面積（mm²）が計算され、提示されます（図を参照）。それぞれの四隅のマーカーは、画像解析のための基準位置を示しています。すでに当科の診療にて実際の患者に利用していますが、評判は上々です。治療の前後で、患者さんの状態を数字で確認できることは、患者と医療サイドの両者に高い満足感をもたらしています。

「ふるえAI」には、正常、本態性振戦（増幅された生理的振戦を含む）、小脳失調の3群のみですが、取り込んだ教師画像を元にAIによる診断確率を推測する機能も装備しました。ただし、診断率は70～80%と高くないので、参考程度に留める必要があります。アプリケーションの解析方法については、別の論文²を参照いただけると幸いです。

4. おわりに

ふるえ・振戦の診療について、概説しました。上記以外にもミオクローヌス、ジストニアなどの不随意運動、心因性などふるえの原因は複数ありますが、頻度は少ないです。明らかに症状が存在するのに診断が難しい場合、慢性ではなく亜急性～急性の経過の際は、早めに専門医紹介をご検討ください。

文 献

1. デンサン. ふるえAI. Available at: Google Play and Apple Store, 2020.
2. Ishii N, et al. Spiral drawing: Quantitative analysis and artificial-intelligence-based diagnosis using a smartphone. J Neurol Sci. 2020;411:116723.

宮大医学部学生のページ



部活動紹介 ～軟式テニス部～

宮崎大学医学部 医学科4年 ^{あり}有 ^{むら}村 ^{ゆう}祐 ^と斗

軟式テニスは日本が発祥だということをご存じでしょうか。起源は19世紀にさかのぼり、今では東アジアを中心としたアジア圏で広く親しまれているスポーツです。

テニスコートに足を運んだことがある方はお分かりだとは思いますが、そこには小学生にもなっていない小さな子からお年寄りの方まで老若男女問わず、さまざまな方がいらっしゃいます。また、チームスポーツと違い個人の運動量のばらつきも少ないため、初心者からでも始めやすいと知られているスポーツでもあります。

私たち宮崎大学医学部軟式テニス部は、現在初心者から経験者まで60人を超える部員が在籍

しており、医学部内でも有数の大所帯の部活となっております。練習は週に3回清武キャンパスのテニスコートで行っており、顧問の東野哲也教授（耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室）のご指導の下、日々練習に励んでいます。

軟式テニス部の大会には、主に5月の九州山口医科学生体育大会（春の九山）、8月の西日本医科学生総合体育大会（西医体）、10月の神田・中島・中村・綾部杯（秋の九山）があります。私が入学する前の宮崎大学の成績を見ますと、各大会で個人・団体ともに優勝を成し遂げているという華々しい結果があります。最近の大会では一昨年度の西医体女子個人戦3位・



2019年 九州山口医科学生体育大会にて

全日本医科学生総合体育大会（全医体）女子個人戦優勝，昨年度の春の九山女子団体優勝，秋の九山女子団体優勝とうれしい結果が出ている一方で，私たち男子部員は思うような結果が出せず少々肩身が狭い思いをしているところがあります。

この文章を書いている今現在，新型コロナウイルスの影響で部活動は禁止されており練習もできず，今後の大会もどうなるか分からない状況ではありますが，部活動が再開されたら次の大会に向けて練習に励み男女アベック優勝することを目標としています。

大会のない時期には年に1回，鹿児島大学と

練習試合および親睦会を行っています。一昨年度はコテージを借りてキャンプを行いました。この行事は他大学との交流を図れるだけでなく，試合を行うことで互いに成長していける良い機会であるため，今後も続けていきたいと考えております。

最後になりますが，私たちが何不自由なく練習や大会に臨むことができるのはOB・OGをはじめとする多くの方々のおかげであります。誠にありがとうございます。これからも日々精進してまいりますので今後ともご指導，ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



2019年 西日本医科学生総合体育大会にて



2019年 中村杯・綾部杯 優勝

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
7月1日	・感染症法に基づく届出の基準等の一部改正について（新型コロナウイルス感染症関連） ・「感染症法における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて」の一部改正等について ・新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の取扱いの一部改正等について ・新型コロナウイルス感染症に伴う医療機関への支援の支給見込額の試算ツールについて ・「医療機関等における医療用物資の緊急時への対応について（その3）」及び「新型コロナウイルス感染症対策に係る病院の医療提供状況等の把握等について調査項目一部変更のお知らせ（その7・その8）」について
7月2日	・インコボツリヌストキシンA製剤の使用にあたっての留意事項について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その19）」の送付について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その20）」の送付について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等における新型コロナウイルス感染症に関する流行地域について ・日本学校保健会主催各種研修会の開催について ・新型コロナウイルス抗原定量検査の取扱いについて
7月3日	・レジ袋有料化（プラスチック製買物袋有料化）について ・「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」，「再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行令」及び「再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則」の取扱いについて」の一部改正について ・再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について
7月6日	・「病原微生物検出情報」の送付について ・令和2年度全国学校保健・安全研究大会（富山県大会）の開催中止について ・新型コロナウイルス感染症対策に係る助成金・給付金・補助金等の不審な勧誘等について（注意喚起） ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業に関するQ & A（第3版）について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その21）」の送付について
7月7日	・後期高齢者医療被保険者証更新に係る広報用ポスターについて ・令和2年7月豪雨による被災に伴う保険診療関係等及び診療報酬の取扱いについて ・令和2年7月3日からの大雨による災害に伴う被災者に係る被保険者証等の提示等について ・令和2年7月3日からの大雨による災害による被災者に係る公費負担医療の取扱いについて ・令和2年7月3日からの大雨による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・新型コロナウイルス感染症対応に係る介護報酬等の請求（7月提出分及び8月提出分）の取扱いについて

送付日	文 書 名
7月7日	・医療従事者の医療用物資の医療機関等への配布について ・令和2年度の災害発生時の熱中症対策等について ・障害者支援施設における新型コロナウイルス感染症発生に備えた対応等について ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業に関するQ & A（第4版）について ・「労災保険二次健康診断等給付担当規程」の一部改正について ・コンゴ民主共和国におけるエボラ出血熱流行の終息宣言を踏まえた対応について
7月8日	・再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則等の一部を改正する省令の施行等について
7月10日	・高齢者施設における新型コロナウイルス感染症発生に備えた対応等について ・高額介護（予防）サービス費に係る激変緩和措置の終了について ・令和2年7月3日からの大雨による災害にかかる予防接種の取扱について ・令和2年7月3日からの大雨による災害による被災者に係る各種母子保健サービスの取り扱い等について ・介護施設等に対する布製マスクの配布について ・医療事故情報収集等事業2019年年報の公表等について ・「「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について」の一部訂正について ・医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・検査料の点数の扱いについて ・「使用上の注意」の改訂について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その22）」の送付について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・持分の定めのある医療法人から持分の定めのない医療法人へ移行する計画の認定を受けるための申請について（再周知のお願い）
7月13日	・希少言語に対応した遠隔通訳サービスの説明会開催について ・高齢者、障害者等の災害時要配慮者への緊急的対応及び職員の応援確保について ・令和2年7月3日からの大雨による災害における介護報酬等の扱いについて ・令和2年7月3日からの大雨による災害に係る介護報酬等の請求等の扱いについて ・令和2年7月3日からの大雨による災害にかかる災害救助法の適用について ・令和2年7月3日からの大雨に関する労災診療費等の請求の扱いについて ・令和2年度医師国家試験等の受験資格認定に係る提出書類の扱いについて
7月14日	・外国人傷病者に円滑に対応するための消防機関における取組の推進について ・令和2年賃金構造基本統計調査の実施についての協力依頼について ・災害発生時における新型コロナウイルス感染症拡大防止策の適切な実施に必要な新型コロナウイルス感染症に関する情報共有について
7月16日	・Web講習会に関するQ & Aについて ・「令和2年7月豪雨による被災に伴う保険診療関係等及び診療報酬の扱いについて」の一部訂正について ・令和2年7月豪雨に伴う災害の被災者に係る一部負担金等の扱いについて
7月17日	・在宅使用が想定される人工呼吸器等の周辺における携帯電話端末の利用時の留意点に関する患者等向けリーフレットの周知について ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行等について

送付日	文 書 名
7月17日	・医療安全に関するワークショップの中止について ・令和2年度介護事業実態調査（介護事業経営実態調査）に関する協力依頼について（再協力依頼） ・公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業2019年年報及び第61回報告書の送付について ・「新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置による休暇取得支援助成金」及び「新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置」の周知へのご協力について ・令和2年7月3日からの大雨による災害における精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に規定する入院手続について
7月20日	・厚生労働省「熱中症予防の普及啓発・注意喚起について」 ・令和2年7月豪雨に伴う災害の被災者に係る一部負担金等の取扱いについて（その2） ・「国民の健康と安心につなげるための医療機関・医療従事者支援策」の周知について ・令和2年7月豪雨による被害に対し社会福祉法人が寄付金（義援金）を支出することについての特例について ・令和2年7月豪雨による被災者に係る利用料等の介護サービス事業所等における取扱いについて（その1）および（その2） ・「令和2年7月3日からの大雨による災害に係る介護報酬等の請求等の取扱いについて」の一部改訂について ・令和2年7月豪雨に伴う避難所等における心身機能の低下の予防及び認知症高齢者等に対する適切な支援について ・令和2年7月豪雨に伴う介護サービス事業所の人員基準等の取扱いについて ・令和2年7月豪雨により被災した高齢の要援護者への対応及びこれに伴う特例措置等について ・「介護サービス事業所・施設等における感染症対策支援事業等及び職員に対する慰労金の支給事業」について ・「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」の正誤表の送付について ・チェーンソーを用いて行う伐木等の業務に従事する労働者に対する特別教育の実施について
7月21日	・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その23）」の送付について ・令和2年7月3日からの大雨による災害による被災者に係る公費負担医療の取扱いについて（その2） ・覚醒剤原料を指定する政令の一部を改正する政令の公布について ・麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令の公布について
7月22日	・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行について（オンライン服薬指導関係） ・新型コロナウイルス感染症発生下における日本医師会会内委員会等の開催について ・令和2年7月豪雨に伴う災害の被災者に係る一部負担金等の取扱いについて（その3） ・令和2年7月豪雨による災害にかかる福祉避難所等に対する福祉関係職員等の派遣に係る費用の取扱いについて ・乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチンの流通に係る対応について ・労災レセプト電算処理システムの利用促進に係るお知らせ ・新型コロナウイルス感染症で影響を受ける医療機関・医療法人の皆様へ雇用維持と事業継続の為の資金繰り支援等のご案内について（第2版）

送付日	文 書 名
7月22日	・「医療法及び医師法の一部を改正する法律の施行について」の一部改正について（医師少数区域経験認定医師にかかる申請様式の件）
7月27日	・特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律第3条第2項の規定に基づき、同条第1項の特定権利利益に係る期間の延長に関し当該延長後の満了日を令和2年12月28日とする措置を指定する件について ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」の一部改正について（向精神薬関連） ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その24） ・労災レセプト電算処理システムの利用促進に係る協力依頼について ・令和二年七月三日からの大雨による災害に対処するための要介護認定有効期間及び要支援認定有効期間の特例に関する省令の施行について
7月28日	・日本専門医機構認定共通講習におけるWEB講習の取扱いについて ・令和2年7月豪雨に伴う災害の被災者に係る一部負担金等の取扱いについて（その4） ・「使用上の注意」の改訂について ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第2.2版」の周知について ・「地域外来・検査センター」における「新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム（G-MIS）」を用いた受診者数等の報告について ・「2019-nCoV（新型コロナウイルス）感染を疑う患者の検体採取・輸送マニュアル」の改訂について ・新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の取り扱いについて ・令和2年7月豪雨による被災者に係る利用料等の介護サービス事業所等における取扱いについて（その3） ・ヒトパピローマウイルス感染症予防に用いられる組換え沈降9価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（酵母由来）（シルガード9水性懸濁筋注シリンジ）の接種における留意事項について ・感染症法における新型コロナウイルス感染症患者及び無症状病原体保有者の退院の取扱いに関する質疑応答集（Q&A）について ・帰国者・接触者外来等の医療機関等における新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）の利用促進及び新型コロナウイルス感染症に係る行政検査に関するQ&Aについて ・新型コロナウイルス感染症の患者数増加に備えた人工呼吸器の十分な確保について
7月29日	・NBCR対策推進機構「医療従事者のための爆発物災害対策医療講習会」の開催について ・令和2年度（第71回）全国労働衛生週間に関する協力依頼について ・令和2年7月豪雨による災害についての特定非常災害及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令等について ・在宅使用が想定される人工呼吸器等の周辺における携帯電話端末の利用時の留意点に関する患者等向けリーフレットの発行について
7月30日	・看護師養成所等における実習補完事業の実施について ・新型コロナウイルス感染症にかかる検査料の点数の取扱いについて ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者及び無症状病原体保有者の退院の取扱いに関する質疑応答集（Q&A）について ・令和2年7月豪雨による被災者に係る利用料等の介護サービス事業所等における取扱いについて（その4）

あとかき



水耕栽培を始めてみました。元々はマンションのベランダでプランターを使っただけの家庭菜園をやっていたのですが、うちのベランダは風が強く鉢ごと倒れる可能性が高いことと、私が日中ほとんど家にいないので細かい手入れが難しいこともあって諦めていました。それがある日、ネットを見ていた時

に“水耕栽培”という文字が目にとまりました。“自宅の部屋の中でLEDの光で野菜を栽培できる”との記載に、これなら自分でもできるかも！と思って購入。届いたキットには栽培容器やLEDライト、発芽のための容器やスポンジなどが入っていました。早速2.5cm角の小さなスポンジの凹みにリーフレタスなどの種を植え込み、水を張った発芽用の小さな容器にセット。数日で芽が出てきて、さらに数日して根が十分伸びてきたところで栽培用の大きな容器に植え替えです。栽培容器でも土は使わず、専用の液体肥料を一定量混ぜた水を張った容器で野菜を育てます。手入れは液肥の水が減りすぎないように時々追加することと、容器内に苔が生えてくるので月に2回くらい掃除して水を入れ替えることくらい。日に日に大きくなるのがわかるくらい成長が早いので、1か月ほどで収穫開始できました。その日に自分が食べる分だけを取って食べる、という生活をしていて、レタスと小松菜は買わなくてもすむようになりました。次はほうれん草の栽培に挑戦したいと思っていますところ（高橋）

* * * * *

コロナ禍の影響で、お盆休みも何も予定を入れることができなかったので、ゴールデンウィーク同様に自宅で断捨離に励みました。やる気になってはその都度購入する寿命の短い健康器具、押し入れに何年も置いてある妻が捨て切れない娘たちの思い出の品、いつか昔のように着ることができると信じていた洋服など、悩める妻を説得しながら、エコクリーン宮崎へ向かいました。しかし、勢いよく焼却炉に投げ込んだ後は、なんだか気持ちもスッキリ！今求められているのは、人もモノも密にならないことかなと思います。（野村）

* * *

皆さんは最近、涙を流しましたか？泣くと、交感神経から副交感神経にスイッチが切り替わり、脳がリセットされ疲れ・ストレスがとれるとのこと。さらに、リンパ球の活性化が起こり、免疫力も高まるらしい。泣き方にもコツ？があり、自分の悲しみや怒りなどのストレスで泣くより、映画やドラマ・小説など他人が経験した話で泣く「感動泣き」の方が効果的なようだ。ちなみに、泣いた後に、優しい気持ちになれるのは私だけだろうか？（山崎）

* * *

コロナ禍の生活、皆さんはどうお過ごしでしょうか。私は密を避け、堀切峠、青島、赤江浜、サンビーチツ葉、自宅、クリニック周辺と時に散歩しています。歩くスピードは日頃気付かなかった青い空、気持ちいい風、綺麗な水、美しい花、力強い緑、生き物の活動といったすばらしい宮崎を再発見させてくれます。大好きなハワイにも負けていません。何かと厳しく不安な状況が続きますが発想の転換で楽しい生活ができるのです。（石田）

親知らずを抜きました。初めての抜歯であり、また親知らずの抜歯は痛いとはよく耳にするためとても緊張しました。施術中は麻酔のおかげで痛みは感じませんでしたが、麻酔が切れるとじんじん痛み、出血もなかなか止まらず、翌日には驚くほど顔が腫れました。そんな中で一番辛かったことは、痛みで食事が普段通りとれないことでした。口も大きく開けられないので、スープを少しずつ飲んでいました。早くよくなって焼肉を食べたいです。（河野(真)）

* * *

スチューデントドクターとして臨床実習に参加するための最後の関門である、OSCEとCBTという2つの全国共用試験に合格するために、勉強の日々を送っています。感染予防のため、気分転換に部活動に顔を出したり、友だちと飲みに行ったりすることはできませんが、料理や筋トレなど、自宅だからこそできることで気分転換をしながら勉強を頑張っています。無事2つとも合格できるように、残り1か月頑張っていきたいと思います。（横山）

* * *

6月下旬から分不相応な常任理事を拝命することになり、その後担当理事として広報委員会に参加しております。委員会で発刊に際し、文章内容の吟味・句読点含めた文章構成に於けるチェックなどが的確に行われていることを目の当たりにしました。今まで本誌に関しては、数ページくらいを読むというより眺めていた自分を恥ずかしく思っております。今後どれだけのお手伝いができるかわかりませんができる限り協力させていただきます。（高木）

今月のトピックス

日州医談 医師国保からみた新型コロナウイルスの影響

医師国保から見たCOVID-19の影響について県医師会の佐々木究理事に考察していただいています。医業経営の面からも厳しい状況が続くのは間違いないようです。症状の軽微な患者も多いのですが、指定感染症であるため適切な感染対策なしに新型コロナウイルス感染症が疑われる患者を診察した場合は、ある程度の期間診療を自粛せざるをえなくなることもありえます。その事も医療機関が発熱患者の診察に対して萎縮する原因の一つとなっており、私見ですが早めに指定感染症から外すことも検討すべきではないかと思います。

12ページ

はまゆう随筆

今回も多くの投稿をいただきました。興味深い記事が満載で楽しく拝読しました。プラハで鯨飲、いいですね～。僕の将来行きたい所リストにまた一つ加わりました。

14ページ

診療メモ ふるえの診療

ふるえの診療について宮崎大学脳神経内科講師の望月仁志先生に教えていただきました。高齢者でふるえが見られる患者さんは多く、明日からの日常外来で役立つ勉強をさせていただきました。ありがとうございました。

80ページ

日 州 医 事 第853号 (令和2年9月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 野村 勝政・副委員長 稲倉 琢也

委 員 山崎 俊輔, 植田 雄一, 高橋 典子, 菊池 英維,
石田 康行, 長井 慎成

学 生 委 員 河野 太地, 河野 真菜, 横山慎太郎, 木村 桃子

担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 本崎 礼子, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)